I-O DATA

Hi-Vision Recording HDD

HVL-AVSシリーズ

RECBOX 取扱説明書

目的別ガイド 以下の目的に合った取扱説明書をご覧ください。

●スカパー !HD の録画をする場合	別紙【録画ガイド　スカパー !HD】
●〈レグザ〉の録画をする場合	別紙【録画ガイド　〈レグザ〉】
●Wooo からダビングする場合	別紙【Wooo から RECBOX へダビングする】
●上記以外の利用方法について	本取扱説明書

B-MANU201753-01

もくじ

はじめに 3
- 安全のために 3
- 使用上のご注意 6
- 箱の中には 8
- 動作環境 8
- 各部の名称・機能 9

初期設定 10
- ネットワークに接続する 10
- 設定画面の開き方 11
- かんたん設定 14
- パソコンからアクセスする 16
- カートリッジを使う 21
- USB ハードディスクを使う 26
- 電源を切る場合 29

他の設定 30
- 詳細設定 30
- コンテンツ操作 40
- ディスク状況表示 74

困ったときには 75
- 本製品起動時のトラブル 77
- セットアップ時のトラブル 77
- 本製品へアクセス時のトラブル 83
- 設定画面のトラブル 85
- 本製品の IP アドレスについて 87
- ランプやブザーについて 89
- 内蔵や USB ハードディスクについて 89
- タイムサーバー機能使用時のトラブル 90
- その他 90

仕様 91
- ハードウェア仕様 91
- ランプの表示 92
- 出荷時設定 93
- 文字制限 94
- 対応ファイルフォーマット 94
- 「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」のご案内 95
- アフターサービス 97

はじめに

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味

⊘	禁止
❗	指示を守る

⚠危険

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⚠警告

接触禁止

雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない

火災・感電の原因となります。

・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込み、窒息するおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

火災の原因となります。

警告

故障や異常のまま、接続しない

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行う

電源コードを抜かずに行うと、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使用を中止する

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

決められた電源・ケーブルで使用する

所定以外の電源およびケーブルで、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

給電されている LAN ケーブルは絶対に接続しない

給電されているケーブルを接続すると、発煙や火災の原因になります。

●電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

AC アダプターや接続ケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使用しない

ケーブルから発煙したり火災の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しない

発熱、火災の恐れがあります。

ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わない

火災、感電の原因になります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

警告

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付の AC アダプターや接続ケーブルは、他の機器に接続しない

添付の電源ケーブルおよび AC アダプターは本機専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因となることがあります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない

火災の原因になります。

注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

●電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

熱器具のそばに配線しない

ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

使用上のご注意

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。万一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。

[参考] バックアップとは

ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（ハードディスクやBD・DVD メディアなど）にデータを複製することをいいます。
※外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが 2 か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失っても、残ったもう一方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

○ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェア (OS､アプリケーションソフトなど) を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
○本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使用ソフトウェアについて

○本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991 に基づいた、ソフトウェアを使用しております。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

ラジオやテレビの近くで使用する場合のご注意

○この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

その他のご注意

○動作中に本製品や USB ハードディスクの電源は切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

○本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

○本製品は、DHCP サーバーがある環境では、自動的に DHCP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCP サーバーのない環境では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。

○本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。
本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

○本製品を複数台ネットワークに導入する場合は、本製品の「IP アドレス」を異なる数値にする必要があります。

○本製品内蔵ハードディスクは、本製品「専用フォーマット」でフォーマットされています。
他のフォーマット形式（FAT、NTFS など）にフォーマットすることはできません。

○設定画面上から行うハードディスクのチェックディスクに要する時間は、ハードディスクの状態や容量により大きく異なります。通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数時間程度の時間を要することがあります。

○コンテンツ公開用の USB ハードディスク内にすでに作成されているファイル名、フォルダー名には正しく表示されないものがあります。

○録画中や [電源] ランプ点滅中に AC アダプターを抜いたり、本製品の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

○コンテンツ公開用 USB ハードディスクに複数のパーティションがある場合、本製品で認識できるのは第 1 パーティションのみになります。

○カートリッジを使用する場合、カートリッジ上面を強く押さないでください。破損するおそれがあります。

○出荷時設定ではカートリッジへの録画、ムーブは「無効」になっています。

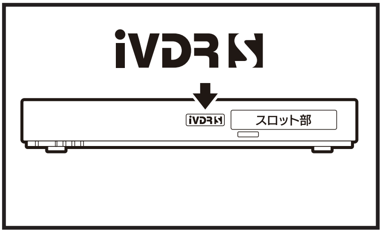
○再生に使用するテレビやレコーダーによっては、録画コンテンツが再生できない場合があります。

○本製品の電源が切れている状態では、カートリッジを挿入しないでください。

箱の中には

□本製品（1 台）
□ AC アダプター（1 個）
□録画ガイド スカパー ! HD（1 枚）
□ Wooo から RECBOX へダビングする（1 枚）
□ iVDR-S ロゴシール（1 枚）※
□ LAN ケーブル　※ストレートタイプ :1m（1 本）
□ AC ケーブル（1 本）
□録画ガイド〈レグザ〉（1 枚）
☑取扱説明書（本書：1 冊）

※本シールは、本体正面のスロット部横等に貼ってご使用ください。



動作環境

ご注意

最新の動作環境については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）でご確認ください。

対応機器
動作確認済み機種については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）の製品情報をご覧ください。

対応 OS
Windows® 7(32 ビット版 /64 ビット版)、Windows Vista®(32 ビット版)
Windows® XP(32 ビット版)

本製品の設定に必要なソフトウェア
本製品の設定には、Internet Explorer バージョン 7.0 以上、または、Safari バージョン 3.0 以上が必要です。
※一部の設定は、対応テレビに搭載の Web プラウザーに対応しています。

対応カートリッジ（2012 年 3 月現在）
●弊社製カートリッジハードディスク

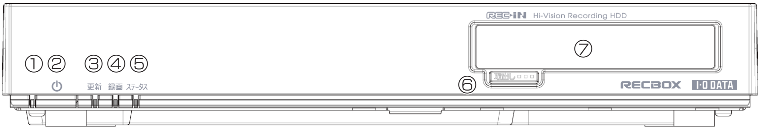
iVDR-S 規格カートリッジ	非 iVDR-S 規格カートリッジ
RMS シリーズ、IVS シリーズ	RHDM シリーズ

●日立マクセル製
iVDR-S 規格カセットハードディスク「iV」

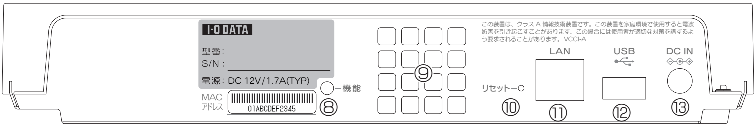
※対応カートリッジは、別売りとなります。別途お買い求めください。

各部の名称・機能

▼前面



▼背面



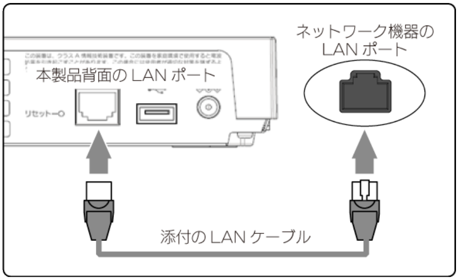
<table>
<tr><td>①電源ランプ</td><td colspan="2">青…DHCP サーバーより IP アドレスを設定時、または、固定 IP 設定時
緑…AutoIP より IP アドレスを設定時
赤…スタンバイモード（省電力モード）時</td></tr>
<tr><td>②電源スイッチ</td><td colspan="2">電源 ON/OFF（スタンバイモード移行 / 復帰）
詳しくは、【電源を切る場合】(29 ページ) をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>③更新ランプ</td><td colspan="2">橙…最新ファームウェアがあります。
※本製品の設定で自動アップデート機能を [無効] に設定している場合、【●本製品の設定画面からファームウェアの更新を行う場合】(38 ページ) にしたがって更新してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">④録画ランプ</td><td colspan="2">録画に関する情報表示</td></tr>
<tr><td>「スカパー！ HD 録画」対応チューナー使用時</td><td>赤…録画中 / 橙…予約あり</td></tr>
<tr><td>〈レグザ〉、Wooo 使用時</td><td>赤…ダビング中</td></tr>
<tr><td>⑤ステータスランプ</td><td colspan="2">システムエラー発生時などに点灯 (赤)
詳しくは、【ランプの表示】(92 ページ) をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>⑥ iVDR 取出しスイッチ</td><td colspan="2">「ピッ」と音が鳴るまで約 2 秒ほど長押しして、本製品からカートリッジ を取り出します。</td></tr>
<tr><td>⑦ iVDR スロット</td><td colspan="2">本製品にカートリッジを挿入します。
詳しくは、【カートリッジを使う】(21 ページ) をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">⑧機能スイッチ</td><td>USB 機器 接続時</td><td>USB 機器を取り外す際に使用します。
【USB ハードディスクを取り外すには】(28 ページ) 参照</td></tr>
<tr><td>USB 機器 未接続時</td><td>設定の切り替え、または優先録画先の確認に使用します。
【・本製品でフォーマットする場合】(22 ページ) 参照
【●製品背面の [機能スイッチ] で切り替える】(23 ページ) 参照
【●製品背面の [機能スイッチ] で切り替える】(25 ページ) 参照</td></tr>
<tr><td>⑨ FAN</td><td colspan="2">冷却用 FAN です。ふさがないでください。</td></tr>
<tr><td>⑩リセットスイッチ</td><td colspan="2">IP アドレス設定の初期化および予約録画情報を削除する場合に使用します。</td></tr>
<tr><td>⑪ LAN ポート</td><td colspan="2">添付の LAN ケーブルを接続します。</td></tr>
<tr><td>⑫ USB ポート
（A コネクター）</td><td colspan="2">DLNA コンテンツ公開用 USB ハードディスクなどを接続します。
※ USB ハブを経由して USB 機器を接続することはできません。
詳しくは、【USB ハードディスクを使う】(26 ページ) をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>⑬電源コネクター</td><td colspan="2">添付の AC アダプターを接続します。</td></tr>
</table>

初期設定

ネットワークに接続する

1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。

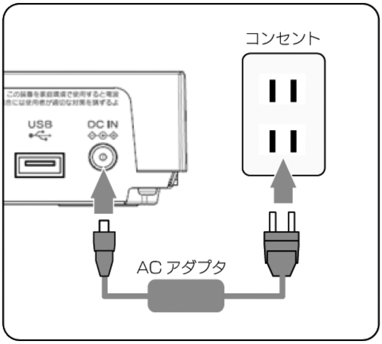
2 本製品背面の LAN ポートに添付の LAN ケーブルを接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。



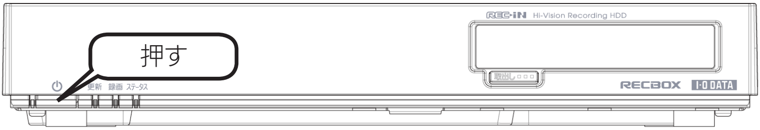
ご注意

必ず LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなる場合があります。

3 AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品背面の電源コネクターに接続し、もう一方をコンセントに接続します。



4 本製品前面の電源スイッチを押し、電源を ON にします。
「ピー」と鳴り、電源ランプが緑点灯 / 青点灯すれば本製品の起動完了です。



設定画面の開き方

〈レグザ〉、Wooo の場合は、各機器に搭載のブラウザーから設定できます。
以降の手順にしたがって、設定画面を開いてください。

〈レグザ〉から開く

1	リモコンの レグザリンク を押します。
2	[録画番組を見る]※にカーソルを合わせ、決定 を押します。 ※ Z1 シリーズの例となります。機種により異なります。
3	[LAN-S HVL-xxxxxx] にカーソルを合わせ、クイック を押します。
4	クイックメニューの [機器情報] を選択し、本製品の [IP アドレス] の値を確認し、メモします。
5	〈レグザ〉取扱説明書内の「インターネットで情報を見る」の手順にしたがって、アドレスの入力画面を開きます。 手順4でメモした IP アドレスにしたがって、アドレス (URL) を入力します。 例）IP アドレスが“192.168.0.200”の場合、次のようにアドレス (URL) を入力します。 http://192.168.0.200/

本製品の設定画面が開きます。
本製品の設定画面をお気に入りに登録しておくと、次回表示する時に便利です。
次に、【かんたん設定】(14 ページ) へお進みください。

初期設定
他の設定
困ったときには
仕様

Wooo から開く

※ GP08、XP08、XP07 シリーズの例となります。

1	リモコンの [見る] を押します。 ZP05、XP05 の場合は、[Wooo リンク] を押します。
2	[AV ネットワーク] を選択し、(決定) を押します。
3	RECBOX※を選択し、(決定) を押します。 ※ HVL-xxxxxx[RECBOX]
4	[Folders] または [フォルダー] を選択し、(決定) を押します。
5	[info] を選択し、(決定) を押します。
6	画面内のタイトルに表示された [IP アドレス] の値を確認し、メモします。
7	Wooo 取扱説明書内の「アドレスを入力してホームページを表示するには」の手順にしたがって、アドレスの入力画面を開きます。 手順5でメモした IP アドレスにしたがって、アドレス (URL) を入力します。 例）IP アドレスが“192.168.0.200”の場合、次のようにアドレス (URL) を入力します。 http://192.168.0.200/

本製品の設定画面が開きます。

本製品の設定画面をお気に入りに登録しておくと、次回表示する時に便利です。

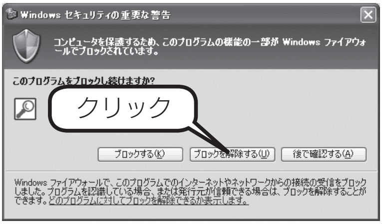
次に、【かんたん設定】(14 ページ) へお進みください。

パソコンから開く

1	弊社ホームページのサポートライブラリ (http://www.iodata.jp/lib/) から [Magical Finder] をダウンロードし、起動します。 上記ページの「製品型番から探す」の製品名の先頭文字「H」より､製品名「HVL-AVS」を選択し、ダウンロードページにお進みください。

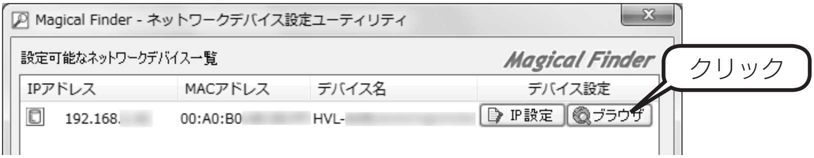
ご注意

右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。



右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。
その後 [ユーザカウント制御] が表示された場合は、「続行する」をクリックしてください。

2	［ブラウザ］ボタンをクリックします。



ご注意

[Magical Finder] で設定できない場合は、【[Magical Finder] で設定できない】(80 ページ) をご覧ください。

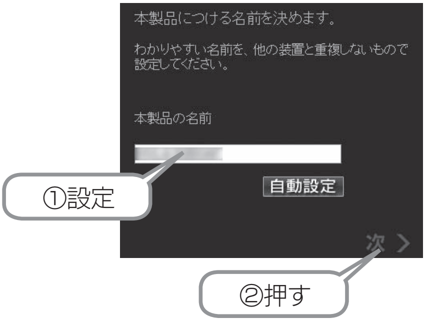
本製品の設定画面が開きます。

次に、【かんたん設定】(14 ページ) へお進みください。

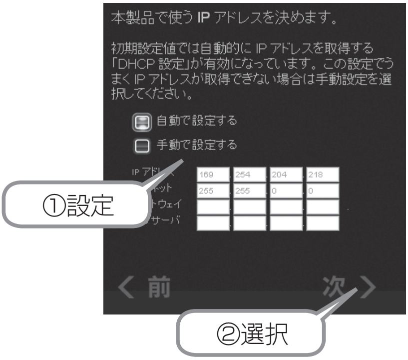
かんたん設定

1	本製品の設定画面で、[かんたん設定] を選択します。

2	本製品の名前を変えることができます。 お好きな名前に変更するか、「自動設定] を選択すると自動で名前を設定することができます。 [次] を選択します。



3	本製品の IP アドレスを設定できます。 初期設定値では自動的に IP アドレスを取得する設定になっていますが、IP アドレスが取得できない場合は、手動にて設定することもできます。 [次] を選択します。



4

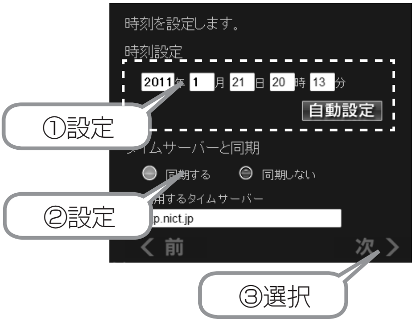
時刻設定ができます。

①手動か自動で設定します。

手動設定	日付時刻を入力します。
自動設定	[自動設定]を押します。

②タイムサーバーを使用する場合は、[同期する]を選択します。

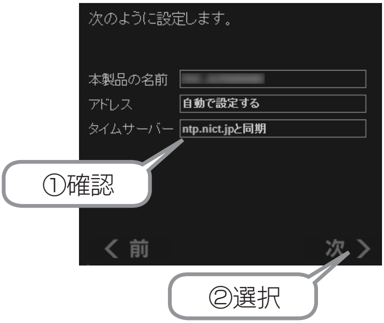
③［次］を選択します。



5

設定した内容の確認をして、［次］を選択します。

※完了画面が表示されるまで、設定中は電源を切らないでください。



以上でかんたん設定は完了です。

パソコンからアクセスする

アクセスする際のご注意

本製品の [disk1] フォルダーや [contents] フォルダーを読み書きする場合は、ご使用の前に、以下の項目を必ずご確認ください。

○本製品の使用中において、データが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。（故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。）
○動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
○本製品のファイルやフォルダーに「読み取り専用」などの属性情報を設定することはできません。
○本製品で使用できるフォルダー名やファイル名には制限があります。詳細は、【文字制限】(94 ページ) をご覧ください。
○本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は 8 台までとなります。
○ファイルコピー中や動作中に増設外付用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
本製品の電源を切った後、増設用ハードディスクの ACCESS ランプを確認の上、電源を切ってください。
○ [disk1] フォルダーには〈レグザ〉から直接録画されたコンテンツが保存されますので、[disk1] フォルダー内のファイルは削除しないでください。削除すると、コンテンツが壊れるなどの原因となります。

[参考] 本製品の IP アドレスを手動で設定する場合

【本製品の IP アドレスを手動で設定したい】(87 ページ) をご覧ください。

[参考] 本製品のフォルダーの役割について

本製品には以下の役割のフォルダーがあります。

フォルダー	役割	Windows 共有	DLNA 公開
contents	DLNA 対応ファイル (動画、音楽、写真など) をこのフォルダーに保存すると、DLNA 対応機器で再生できます。	○	○
disk1	通常の共有フォルダーとして利用できます。 文書ファイルや DLNA で公開したくないファイルなどは、このフォルダーを利用します。また、〈レグザ〉の LAN 録画でも、このフォルダーを利用します。	○	×

※ contents フォルダーに大量の対象ファイルを一度におくと、DLNA のデータベース作成に、時間がかかる場合があります。製品の動作レスポンスが低下する場合がありますので、「スカパー！ HD 録画」などで録画予約を行っている場合は、予約時間帯を避けるなどしてください。

Windows 7、Vista からアクセスする

1 [スタート] をクリックし、[プログラムとファイルの検索] または [検索の開始] をクリック後、「¥¥HVL-xxxxxx」と入力し [Enter] キーを押します。
※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。
※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。

[参考] 本製品の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに [HVL-xxxxxx] の名前が設定されてます。
(xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁)
MAC アドレスは、本製品背面のシールに記載されています。
※ MAC アドレスは、0 ～ 9 の数字と A ～ F までのアルファベットで構成されています。

ご注意

本製品が見つからない場合は、【パソコンからのアクセス時に、[RECBOX] が見つからない】(83 ページ) をご覧ください。

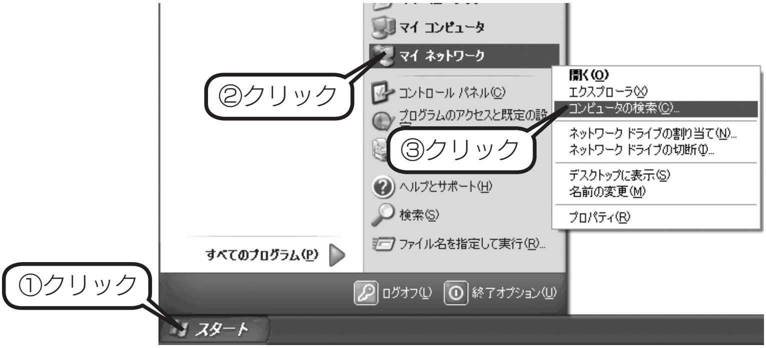
2 本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
[disk1]、[contents] フォルダーをダブルクリックします。
表示された [disk1]、[contents] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

ご注意

[disk1] フォルダーには〈レグザ〉から直接録画されたコンテンツが保存されますので、[disk1] フォルダー内のファイルは削除しないでください。削除すると、コンテンツが壊れるなどの原因となります。

Windows XP からアクセスする

1	[スタート]→[マイネットワーク]→[コンピュータの検索] をクリックします。

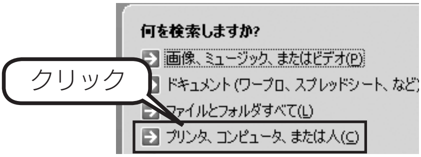


ご注意

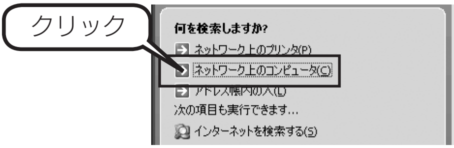
表示に［マイネットワーク］がない場合は、以下の手順を行います。

①［スタート］→［検索］をクリックします。

②「何を検索しますか?」で［プリンタ、コンピュータ、または人］をクリックします。



③「何を検索しますか?」で［ネットワーク上のコンピュータ］をクリックします。

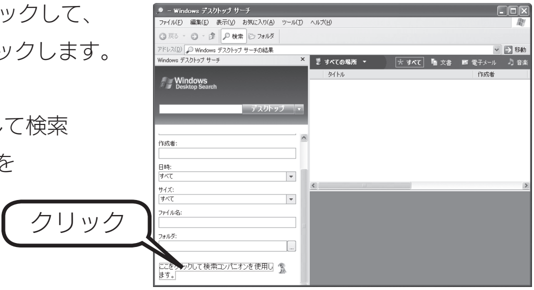


ご注意

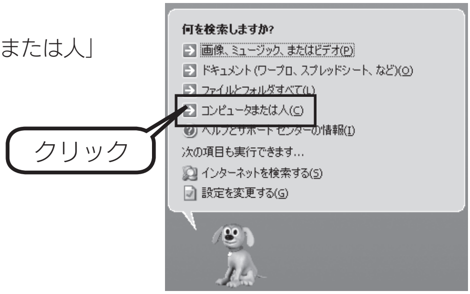
Windows サーチ 4.0 がインストールされている場合

①[マイネットワーク] を右クリックして、
「コンピュータの検索」をクリックします。

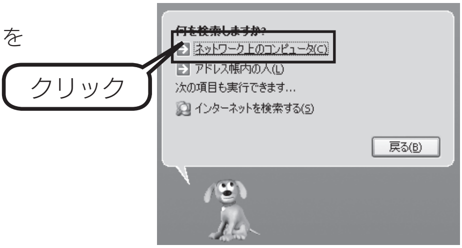
②画面左下の「ここをクリックして検索コンパニオンを使用します。」をクリックします。



③左側メニューから「コンピュータまたは人」をクリックします。

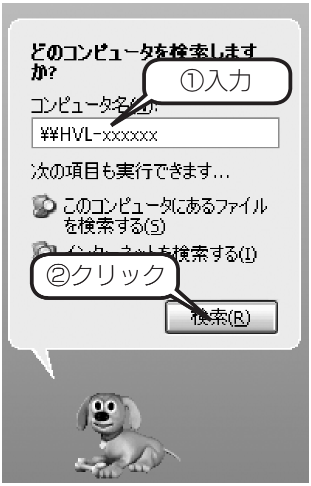


④左側メニューから、
「ネットワーク上のコンピュータ」を
クリックします。



⑤コンピュータ名に該当の名前を入力し、[検索] ボタンをクリックします。

2 「どのコンピュータを検索しますか?」で[コンピュータ名]に「¥¥HVL-xxxxxx」と入力し[検索]ボタンをクリックします。※本製品の名前を変更した場合は、変更した名前を入力してください。
※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁です。



[参考]本製品の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに[HVL-xxxxxx]の名前が設定されてます。
(xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁)
MAC アドレスは、本製品背面のシールに記載されています。
※ MAC アドレスは、0 ~ 9 の数字と A ~ F までのアルファベットで構成されています。

3 「RECBOX」が検索されますので、ダブルクリックします。
※2つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、2 つの「RECBOX」が発見されることがあります。2 つのうちどちらかをダブルクリックしてください。これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

4 本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
[disk1]、[contents] フォルダーをダブルクリックします。
表示された [disk1]、[contents] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

ご注意

[disk1] フォルダーには〈レグザ〉から直接録画されたコンテンツが保存されますので、[disk1] フォルダー内のファイルは削除しないでください。削除すると、コンテンツが壊れるなどの原因となります。

カートリッジを使う

RECBOX シリーズは、カートリッジにもコンテンツを保存することができます。

ご注意

- 出荷時設定ではカートリッジへの録画、ムーブは「無効」になっています。
- 本製品の専用フォーマットを行ったカートリッジに録画した番組は、録画した RECBOX とは別の RECBOX などに挿入しても再生することができません。録画した RECBOX でのみ再生できます。
- カートリッジが再生中や、録画中やダビング中のアクセス中の場合、カートリッジを取り出すことはできません。処理が完了するまでお待ちください。

対応カートリッジ

iVDR-S 規格カートリッジ、弊社製 RHDM シリーズ

※カートリッジ上面を強く押さないでください。ハードディスクに重大な損傷を与える場合があります。

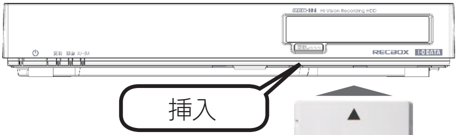
※対応カートリッジは、別売りとなります。別途お買い求めください。

カートリッジを挿入する

①本製品の電源を入れて起動します。

⚠ **本製品の電源が切れている状態では、カートリッジを挿入しないでください。**

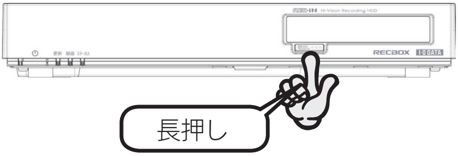
②本製品前面の [iVDR スロット] に、
　カートリッジを挿入します。
　→本製品前面の [電源ランプ] が緑点滅します。
　　[電源ランプ] が点灯になるまで、しばらくお待ちください。
　　カートリッジが認識されると、「ピー」と鳴り、
　　[電源ランプ] が点灯になります。



カートリッジを取り出す

本製品前面の [iVDR 取り出しスイッチ] を、「ピッ」と音がなるまで約 2 秒ほど長押しします。

→本製品前面の [電源ランプ] が緑点滅し、
　しばらくするとカートリッジが排出されます。



iVDR-S 規格カートリッジ（別売り）を使用する場合

●未使用の iVDR-S 規格カートリッジを本製品でご利用になる場合(弊社製 RMS シリーズを除く)

はじめに下記のいずれかの方法でフォーマットをする必要があります。

・〈レグザ〉や Wooo/iVDR レコーダーまたはパソコンをお持ちの場合

各機器に搭載のブラウザーから操作してください。

①未使用の iVDR-S 規格カートリッジを、本製品に挿入します。
電源ランプが点滅を開始します。点灯となるまでお待ちください。
②本製品の設定画面を開きます。(【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。)
③［詳細設定］→［ディスク］の順に選択します。
④［カートリッジのフォーマット］を選択し、［OK］ボタンを選択します。
⑤フォーマット形式を選択し、［OK］ボタンを選択します。

TV-Recording フォーマット	Wooo など iVDR-S 対応機器と互換性のある形式
専用フォーマット	本製品のみで利用できる形式

⑥確認画面が表示されます。確認後、［OK］ボタンを選択します。
⑦完了の画面が表示されます。フォーマット完了です。

・本製品でフォーマットする場合

※ USB 機器が本製品へ接続されている場合、この機能は動作しません。本製品から USB 機器が取り外されていることを確認の上行ってください。

①未使用の iVDR-S 規格カートリッジを、本製品に挿入します。
電源ランプが点滅を開始します。点灯となるまでお待ちください。
②ステータスランプが点灯し、ブザーが「ピーピーピー」となります。
③本製品背面の [機能スイッチ] を、「ピピッ」と音が鳴るまで約 5 秒長押しします。
④自動的にフォーマット作業が行われます。
⑤フォーマット中は電源ランプが点滅します。
⑥電源ランプが点灯に変わるとフォーマット完了です。

●未使用の弊社製 RMS シリーズを、本製品でご利用になる場合

弊社製 RMS シリーズは、TV-Recording フォーマットされておりますので、そのままご利用いただけます。本製品に挿入してください。

●日立 Wooo や iVDR レコーダーなどの機器で既にご使用のカートリッジの場合

すでに記録されている内容も、そのまま本製品でご利用いただけます。

Wooo や iVDR レコーダーのスロットから正しく取り外してから、本製品に挿入してください。正しいカートリッジの取り出し方については、ご使用の日立 Wooo 等の iVDR 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

※正しく取り出されている場合には、Wooo や iVDR レコーダーで記録された内容が確認できます。

ご注意

すでにほかの機器でご使用になっているカートリッジでも、正しく取り出されなかったカートリッジでは、データ不良と認識され、再フォーマットを行う必要があります。
再フォーマットにより、すでに記録されていた内容が消去されますので、ご注意ください。

カートリッジへの録画、ムーブを有効にする

iVDR-S 規格カートリッジへの「スカパー！ HD 録画」や DTCP-IP 対応機器からのムーブ（ダビング）を有効にするには以下の 2 通りの方法があります。

※〈レグザ〉で LAN ハードディスク録画を行う場合、内蔵 HDD にしか録画できません。

※ スカパー！のデジタルラジオ放送のコンテンツは、iVDR-S へ録画やムーブできません。

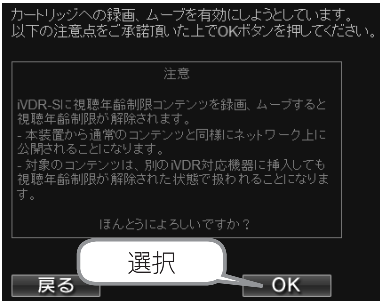
●本製品の設定画面から切り替える

①本製品の設定画面から、[詳細設定] → [システム設定] を開きます。

② [カートリッジへの録画] の設定で [有効] を選択し、[OK] ボタンを選択します。

③設定内容の確認画面が表示されます。
[OK] ボタンを選択します。

④右の画面が表示されますので、内容を確認し、
[OK] ボタンを選択します。



●製品背面の [機能スイッチ] で切り替える

USB 機器が接続されているとこの機能は動作しません。USB 機器が取り外された状態で行ってください。

ご注意

以下の注意点をご承諾頂いた上で設定を有効にしてください。
iVDR-S に視聴年齢制限コンテンツを録画、ムーブすると、通常のコンテンツと同様に扱われることになります。

●本装置から通常のコンテンツと同様にネットワーク上に公開されることになります。

●対象のコンテンツは、別の iVDR 対応機器に挿入しても通常のコンテンツと同様に扱われることになります。

本製品背面の [機能スイッチ] を、「ピピッ」と音が鳴るまで約 5 秒長押しします。

カートリッジへの録画設定が「無効」（出荷時設定）→「有効」になります。

※「有効」→「無効」への設定変更は［機能スイッチ］の操作ではできません。
設定画面から設定を変更してください。

カートリッジを iVDR-S 対応機器で使用する

iVDR-S 規格カートリッジに直接録画した番組や、［コンテンツ操作］で移動したコンテンツは、iVDR-S 対応機器で再生できます。

iVDR-S 規格カートリッジに、「スカパー！ HD 録画」で直接録画した番組や移動した番組を再生することもできます。視聴年齢制限番組の取り扱いについては、上記【ご注意】をご確認ください。

録画先を切り替える

前のページに記載のカートリッジへの録画、ムーブを「有効」に変更することで、本製品は、内蔵 HDD またはカートリッジのどちらにコンテンツを録画するか、優先録画先を切り替えることができます。(初期設定時：内蔵 HDD)

ご注意

- ●カートリッジを優先録画先とする場合、録画開始時にはカートリッジを RECBOX へ挿入しておく必要があります。カートリッジの挿入方法は、【カートリッジを挿入する】(21 ページ) をご覧ください。
- ●優先録画先の設定は、録画・ダビング (ムーブ) 前に、接続機器あるいは本製品にて設定しておく必要があります。
- ●カートリッジを本製品に挿入し忘れていた場合に録画が開始されると、優先録画先をカートリッジに設定していた場合でも、自動的に内蔵 HDD に録画されます。
- ●カートリッジまたは内蔵 HDD の容量が一杯だった場合は、録画エラーとなります。
- ●スカパー ! ブランドチューナー (SP-HR200H、SP-HR250H、TZ-WR320P、TZ-HR400P、TZ-WR325P) では、チューナー側で登録した録画保存先設定が優先されます。録画先を変更する場合は、別紙【録画ガイド スカパー ! HD】内スカパー ! ブランドチューナー (上記 5 製品) の【ステップ 2】の手順を再度行ってください。
  また、本製品の設定画面内の録画保存場所（内蔵 HDD またはカートリッジ）を、チューナー側で登録した録画保存先と同じになるように合わせておくことをおすすめします。本製品の設定方法は、【録画先を切り替える】内【●本製品の設定画面から切り替える】(25 ページ) をご覧ください。
- ●〈レグザ〉で LAN ハードディスク録画を行う場合、優先録画先の設定に関わらず、内蔵 HDD に録画されます。
- ●ソニー製チューナー（DST-HD1) と組み合わせて使用する場合、HDD の全容量表示、使用容量表示は行われません。
- ●ソニー製チューナー（DST-HD1) では、以下の手順で設定した録画保存先設定が優先されます。

※ iVDR-S に録画を行っている間は、他の機器からの再生を受け付けなくなります。

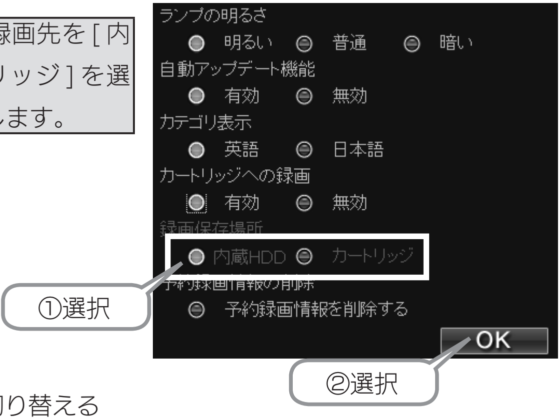
切り替え方法は、以下の 2 通りの方法があります。

●本製品の設定画面から切り替える

●製品背面の [機能スイッチ] で切り替える

●本製品の設定画面から切り替える

1	本製品の設定画面から、[詳細設定] → [システム設定] を開きます。
2	[録画保存場所] で、優先録画先を [内蔵 HDD] または [カートリッジ] を選択し、[OK] ボタンを選択します。

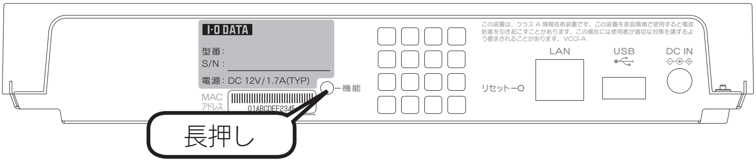


●製品背面の [機能スイッチ] で切り替える

USB 機器が接続されていると、この機能は動作しません。USB 機器が取り外された状態で行ってください。

※はじめて操作する場合は、カートリッジへの録画設定の変更（無効→有効）への切り替え操作となります。【カートリッジへの録画、ムーブを有効にする】(23 ページ) をご覧ください。

1	本製品背面の [機能スイッチ] を、「ピッ」と音が鳴るまで長押しします。



2	ブザー音でお知らせします。 ブザー 1 回「ピッ」… 内蔵 HDD を優先録画先として設定しました。 ブザー 2 回「ピッピッ」… カートリッジを優先録画先として設定しました。

[参考] 現在の設定を確認する場合

●本体背面の [機能スイッチ] を軽く押すと、現在の設定を確認できます。

ブザー 1 回「ピッ」…　内蔵 HDD を優先録画先として設定されています。

ブザー 2 回「ピッピッ」…　カートリッジを優先録画先として設定されています。

USB ハードディスクを使う

本製品に USB ハードディスクを増設することにより、USB ハードディスクに記録されている DLNA 対応コンテンツをネットワーク上に公開することができます。

接続できる USB ハードディスク

ご注意

- ●最新の対応機器については、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/) をご覧ください。
- ●接続した USB ハードディスクに録画、ダビングはできません。
- ●本製品に USB ハードディスクを接続する場合は、必ず USB ハードディスクに AC アダプターを使用してください。
- ● USB バスパワー動作のハードディスクは使用できません。

● USB ハードディスクの対応フォーマット

FAT32、NTFS

USB ハードディスクの接続方法

● USB ハードディスクを接続する

ご注意

●本製品に接続できる USB ハードディスクは、FAT 形式または NTFS 形式のハードディスクのみです。
●本製品に USB ハードディスクを接続した状態で、直接 DLNA コンテンツのコピーはできません。コンテンツをコピーする場合は、パソコンに USB ハードディスクを接続して行ってください。

1	パソコンと USB ハードディスクを接続し、DLNA コンテンツをコピーします。
2	本製品の電源が入っていることを確認します。 ※本製品の電源が入っている状態で接続できます。
3	USB ハードディスクの電源を ON にします。 ※ USB ハードディスクの電源の入れ方については、USB ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。 電源連動機能がある場合は、電源ボタン（スイッチ）を［AUTO］または［ON］にします。本製品に接続するまで、USB ハードディスクの電源は入りませんが、問題ありません。 ※電源連動機能については、USB ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。
4	本製品背面の USB ポートに、USB ハードディスクを接続します。

ご注意

●必ず、USB ハードディスクの電源を入れてから、本製品に接続してください。
●録画中や各種ランプが点滅中は、USB ハードディスクを接続しないでください。
●ブザーが「ピーピーピー」と鳴り、[ステータス] ランプが赤点灯した場合は、USB ハードディスクが FAT/NTFS 形式ではありません。パソコンに直接接続してフォーマットしてください。

5	お使いの〈レグザ〉やパソコンから、接続した USB ハードディスク内のコンテンツが再生できることをご確認ください。

以上で接続は完了です。

USB ハードディスクを取り外すには

取り外し時は、本製品の電源が入っている状態で取り外すことができます。
下記の手順にしたがって取り外しを行ってください。

ご注意

●増設した USB ハードディスクのアクセス中に、本製品や接続した USB ハードディスクの電源を切らないでください。
●本製品動作中に以下の手順を行わずに取り外すと、データの破損や本製品や USB ハードディスクの故障の原因になります。
何らかの理由で、USB ハードディスクにアクセスが行われている最中に、取り外すとデータが破損するばかりか、本製品や USB ハードディスクの故障の原因になります。必ず以下の手順を行ってください。
●本製品をシャットダウンし、本製品の電源を切った後に取り外すこともできます。

1	本製品背面の「機能スイッチ」を長押しすると「ピッ」となり電源ランプが緑点滅します。

2	電源ランプが点灯し、「ピー」となったら、USB ハードディスクを本製品から取り外します。

3	USB ハードディスクの電源を切ります。電源連動機能がある場合はケーブルを取り外した時点で、電源が切れます。 ※ USB ハードディスクの電源の切り方についてはお使いの USB ハードディスクの取扱説明書をご覧ください。

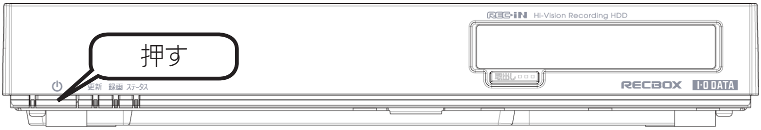
以上で操作は完了です。

ご注意

● USB 機器の場合、本製品の電源が入っている状態で本製品から取り外すことができます。
●データが破損する可能性がありますので、録画やダビングなど本製品へのアクセス時に、USB ハードディスクを接続したり、取り外すことはしないでください。

電源を切る場合

1	本製品前面にある [電源] スイッチを「ドレミ、ピッ」となるまで長押しします。 （省電力モード設定が「無効」の場合は「ピッ」となります。）



2	電源ランプが [緑点滅] から [消灯] に変わったら、正しく電源が切れました。

ご注意

- [電源スイッチ] を短押しした場合は、スタンバイモード（省電力モード）に切り替わります。ブザーが「ドレミ」となり、電源ランプが「緑点滅」から「赤点灯」となった場合は、再度電源スイッチを押して「緑点灯 / 青点灯」となったことを確認してから、上記の手順で電源を切ってください。
- 自動アップデート機能が有効の場合、電源が切れる際に、本製品のファームウェアのダウンロードおよびアップデートが動作することがあります。その場合、電源が切れるまで 10 ～ 20 分くらいかかる場合があります。

他の設定

詳細設定

[詳細設定] では、本製品の各種設定ができます。

1	本製品の設定画面で、[詳細設定] を選択します。

2	本製品の設定画面が表示されます。 各項目については、以下をご覧ください。

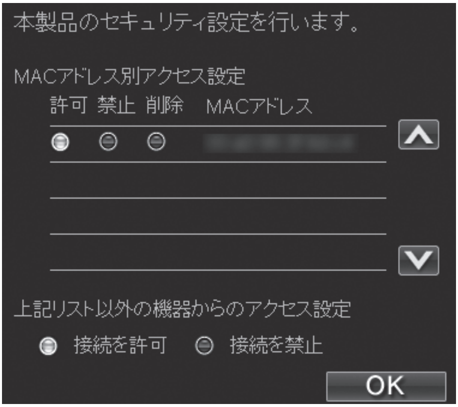
項目	設定内容	参照ページ
セキュリティ設定	ネットワーク上に検出された機器のアクセス設定を行います。 ※パソコンからのみ設定できます。	31 ページ
システム設定	本製品のシステム設定を行います。 ・ランプの明るさ ・自動アップデート機能 ・カテゴリ表示 ・カートリッジへの録画 ・録画保存場所 ・予約録画情報の削除	32 ページ
フォルダー公開	コンテンツを共有するフォルダー公開の [有効]・[無効] を設定します。	33 ページ
シャットダウン	システムのシャットダウン、再起動を行います。	33 ページ
ディスク	本製品の省電力設定、内蔵 HDD やカートリッジのチェックディスク、フォーマットを行います。	34 ページ
システム初期化	本製品を初期設定に戻します。	35 ページ
ファームウェア更新	本製品のファームウェア更新を行います。 ※ファームウェアの自動アップデート機能を無効に設定している場合のみ	36 ページ

[参考] 設定ソフトウェア「EasySetup on USB」について

●本製品を、リビングルーム専用でご利用いただいている場合、パソコンと本製品をネットワークで接続することが困難な場合など
お手持ちの USB メモリーを利用し、設定ソフトウェア「EasySetup on USB」をご利用いただくことで、本製品の設定変更やファームウェアの更新を行うことができます。詳しくは、以下の URL にアクセスしご確認ください。
http://www.iodata.jp/product/av/hdr/hvl-avs/support

[セキュリティ設定]

※パソコンからのみ設定できます。

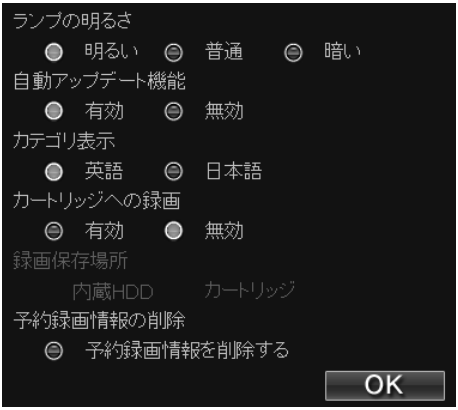


MAC アドレス別アクセス設定	ネットワーク上で検出された機器の MAC アドレス別にアクセスの [許可]、[禁止]、[削除] の動作を設定できます。
上記リスト以外の機器からのアクセス設定	[MAC アドレス別アクセス設定] にて設定した機器以外からのアクセスを設定します。

ご注意

● DLNA クライアントのみが設定対象で、パソコンなど Microsoft ネットワーク共有経由でアクセスするクライアントは制限設定の対象外となります。
●ファームウェアアップデートを行った際には、セキュリティ設定は消去されます。ファームアップ後、再度設定ください。

[システム設定]

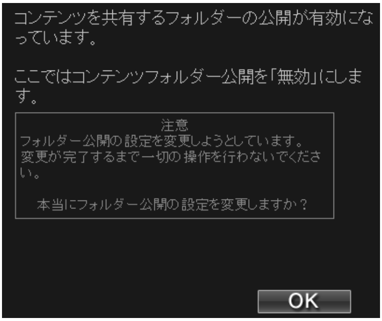


ランプの明るさ	明るい（出荷時設定）	最も明るい設定です。
	普通	若干明るさを抑えた設定です。
	暗い	最も暗い設定です。
自動アップデート機能	本製品がインターネット接続されている状態で、新しいファームウェアが公開されている場合、本製品のシャットダウン時または再起動時に、自動的に最新のファームウェアに更新します。（出荷時設定：有効）	
カテゴリ表示	DTCP-IP 対応機器でコンテンツを再生する際、コンテンツの各種カテゴリ表示を英語表記 / 日本語表記にするか設定します。 （出荷時設定：英語）	
カートリッジへの録画	カートリッジへの「スカパー！ HD 録画」や DTCP-IP 対応機器からのムーブ（ダビング）の有効 / 無効を変更します。（出荷時設定：無効）	
録画保存場所	スカパー！ HD 対応チューナーからの録画やテレビからのダビングの際、コンテンツが保存される先を内蔵 HDD / カートリッジに設定します。 ※接続機器によっては、機器側の録画先設定が優先されます。 （出荷時設定：内蔵 HDD）	
予約録画情報の削除	スカパー！ HD 対応チューナーを初期化した場合など、チューナー側の予約録画情報と本製品の予約録画情報に差異が生じた場合、本製品の予約録画情報を削除し、チューナー側で録画予約を設定しなおす必要があります。この場合に、本製品の予約録画情報を削除します。 リセットボタンを押すことでも予約録画情報を削除できます。	

ご注意

リセットボタンで予約録画情報を削除する場合、IP アドレス設定も初期化されますのでご注意ください。

[フォルダー公開]

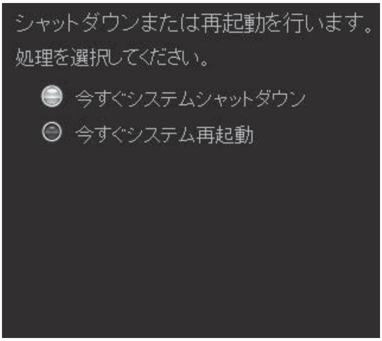


Windows 共有における [disk1]、[contents］フォルダーの公開について「有効」「無効」を設定します。
※出荷時設定は「有効」となってます。
[OK］を選択すると設定変更を開始します。

ご注意

無効に設定した場合、以下のことができなくなります。
- 〈レグザ〉からの直接録画や再生ができなくなります
- パソコンから [disk1]、[contents] フォルダーへアクセスできなくなります

[シャットダウン]

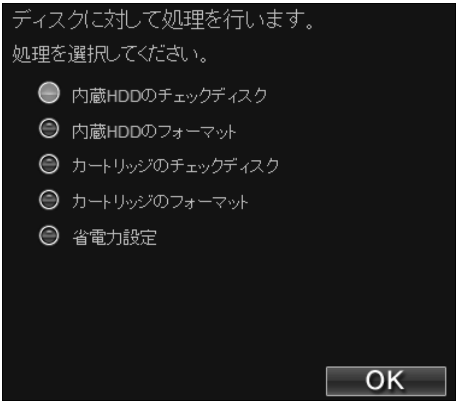


今すぐシステムシャットダウン	本製品をシャットダウンします。 シャットダウン処理ではシステムの電源を安全に切断できるよう、設定情報や管理情報の更新作業の他、一時記憶されているデータファイルの保存作業を行います。[電源] ランプが消灯するまでそのままお待ちください。[電源] ランプが消灯することを確認するまでは電源ケーブルを抜かないでください。
今すぐシステム再起動	本製品を再起動します。

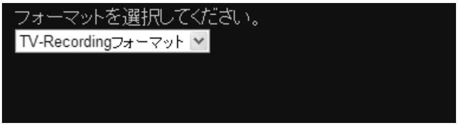
ご注意

[システム設定] にて自動アップデート機能が有効の場合、シャットダウンおよび再起動時にファームウェアのダウンロードおよびアップデートが動作することがあります。
その場合、シャットダウンおよび再起動に 10 ～ 20 分くらいかかることがあります。

[ディスク]



▼カートリッジのフォーマット選択時



▼省電力設定選択時

内蔵 HDD のチェックディスク	内蔵ハードディスクに論理的なエラーが発生してないか調査します。エラーがあった場合には、ファイル構造を修復します。
内蔵 HDD のフォーマット	内蔵ハードディスクをフォーマットします。
カートリッジのチェックディスク	カートリッジに論理的なエラーが発生してないか調査します。エラーがあった場合には、ファイル構造を修復します。 ※「カートリッジのフォーマット」で専用フォーマットしたカートリッジを挿入時のみ表示されます。
カートリッジのフォーマット	カートリッジをフォーマットします。 iVDR-S は、[TV-Recording フォーマット] 形式にフォーマットします。「専用フォーマット」でフォーマットした場合、他の iVDR 対応機器でご利用できなくなります。 ※本製品に、カートリッジを挿入時のみ表示されます。
省電力設定	設定時間を変更する場合や、省電力機能を無効にする場合に選択します。（出荷時設定：30 分後） ※無効にする場合は「なし」を選択してください。

[参考] すぐにスタンバイモード（省電力モード）に切り替える場合

手動で、スタンバイモード（省電力モード）に切り替えも可能です。

[電源スイッチ] を短押します。ブザーが「ドレミ」となり､電源ランプが「緑点滅」から「赤点灯」になれば切り替え完了です。

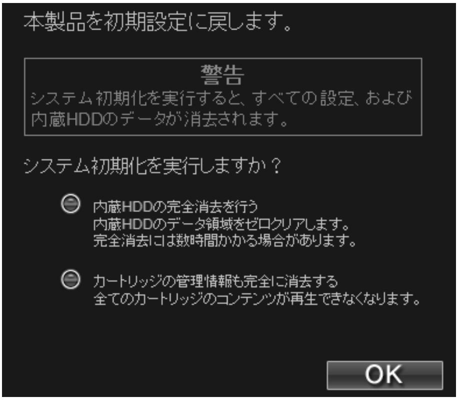
〈レグザ〉でスタンバイモード（省電力モード）を適用するには、〈レグザ〉側で、以下 2 つの機器の登録が行われている必要があります。

・RECBOX の「disk1」…disk1 （HVL-xxxxxx）

・RECBOX の「contents」…contents（HVL-xxxxxx）

〈レグザ〉で RECBOX を登録する方法は、別紙【録画ガイド〈レグザ〉】をご覧ください。

[システム初期化]



すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻し、内蔵ハードディスクもフォーマットします。

出荷時設定については、【出荷時設定】(93 ページ) をご覧ください。

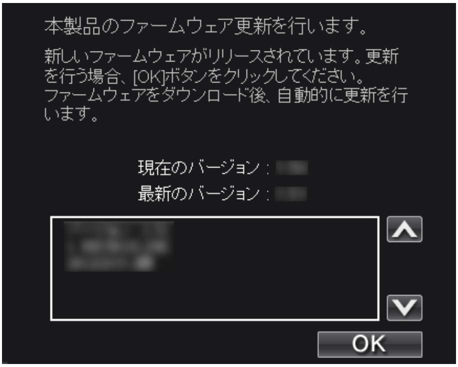
IP アドレスのみを出荷時設定に戻す場合は、【IP アドレスを出荷時設定に戻したい】(87 ページ) をご覧ください。

内蔵 HDD の完全消去を行う	出荷時設定へ戻すと同時に内蔵ハードディスクの全てのデータ領域に 0（ゼロ）を書き込みます。
カートリッジの管理情報も完全に消去する	出荷時設定を戻すと同時に、カートリッジの管理情報も完全に消去します。（iVDR-S カートリッジは除きます。）

ご注意

- [内蔵 HDD の完全消去を行う] を実行する場合、完全消去に時間がかかります。（目安として、1T バイトあたり約 4 時間ほど要します。）
- [カートリッジの管理情報も完全に消去する] を実行した場合、カートリッジのコンテンツはすべて再生できなくなります。（iVDR-S カートリッジは除きます。）
- 本製品を廃棄や譲渡する場合、以下の両方にチェックをつけて初期化してください。
  - ・[内蔵 HDD の完全消去を行う]
  - ・[カートリッジの管理情報も完全に消去する]

[ファームウェア更新]



本製品の設定で自動アップデート機能を [無効] に設定している場合、ファームウェア更新を [手動] で行う必要があります。

※ファームウェア更新方法は、【●本製品の設定画面からファームウェアの更新を行う場合】(38 ページ) をご覧ください。

自動アップデート機能を [有効] に設定している場合は、自動でファームウェア更新が行われますので不要です。(出荷時設定：有効)

※自動アップデート機能の設定内容の確認方法は、【[システム設定]】(32 ページ) をご覧ください。

本製品は、「最新ファームウェア自動チェック機能」が搭載されています。最新ファームウェアが公開されている場合、本製品の [更新] ランプが橙点灯します。

●最新ファームウェア自動チェック機能

インターネットに接続され弊社ホームページへの接続が可能な場合、定期的 (起動時と 1 日 1 回の 2 つのタイミング) に最新ファームウェアが公開されていないか自動的にチェックを行う機能です。最新ファームウェアが公開されている場合、本製品の [更新] ランプが橙点灯します。

本製品の [更新] ランプが橙点灯の場合、次ページの手順にてファームウェア更新を行ってください。

●本製品のシャットダウン時や再起動時に最新ファームウェアに更新する場合

1	本製品の電源を切ります。 本製品前面の [電源] ボタンを、「ドレミ、ピッ」となるまで長押しします。 →本製品がシャットダウンします。 ※省電力モード設定が「無効」の場合は「ピッ」となります。 ※ファームウェア更新のため、電源が切れるまで 10 ～ 20 分程度かかる場合があります。

2	本製品を起動します。 本製品前面の [電源] ボタンを押します。 「ピー」と鳴り、電源ランプが緑点灯 / 青点灯すれば、本製品の起動完了です。

3	本製品の設定画面の [詳細設定] → [ファームウェア更新] を開き、ファームウェアバージョンが最新になっていることを確認します。

これで、ファームウェアの更新は完了です。

●本製品の設定画面からファームウェアの更新を行う場合

※あらかじめ、本製品をインターネット環境に接続しておく必要があります。

1 設定画面を開きます。

※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

2 [詳細設定] → [ファームウェア更新] の順に選択します。

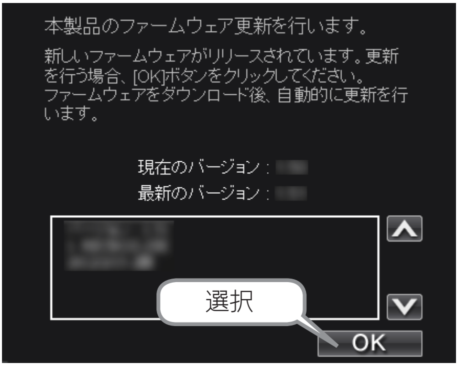
ファームウェアのバージョン確認が自動で行われます。しばらくお待ちください。

→確認結果が表示されます。

3 [OK] を選択し、[決定] ボタンを押します。

→ファームウェアのダウンロードと更新が始まります。

※ファームウェアの更新には、10 ～ 20 分程度かかります。



ご注意

●ファームウェア更新中は本製品の電源を切らないでください。

●本製品アクセス時には、ファームウェア更新は行わないでください。

●ファームウェア更新が終わらない場合は、【ファームウェアの更新が終わらない】(86ページ)をご覧ください。

4 ファームウェアの更新が完了後、本製品は自動的に再起動します。

※ファームウェア更新が終了しても、画面表示は変わりません。本製品の [更新] ランプが消灯になりましたら、更新完了となります。

これで、ファームウェアの更新は完了です。

●オフラインでファームウェアを更新する場合

本製品がインターネット環境に接続されていない場合でも、お手持ちの USB メモリーで、本製品のファームウェアを更新することができます。

※あらかじめ「自動アップデート機能」を有効にしておく必要があります。(初期値：有効)

1	FAT フォーマットされた USB メモリーを 1 本用意します。 ※ FAT フォーマットではない場合は、パソコンで FAT 形式でフォーマットしてください。

2	弊社ホームページのサポートライブラリより「HVL-AVS ファームウェア」をダウンロードします。 <ダウンロードページ>　→　http：//www.iodata.jp/lib/ 上記ページの「製品型番から探す」の製品名の先頭文字「H」より、製品名「HVL-AVS」を選択し、ダウンロードページにお進みください。

3	ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。 展開されたファイル内の「update_hvlavs.tgz.enc」、「HVL-AVS.xml」を手順 1 で準備した USB メモリーにコピーします。

4	本製品背面の USB ポートにファイルをコピーした USB メモリーを接続します。 [電源] ランプが [緑点滅] → [緑点灯 / 青点灯] と変化し、「ピー」とブザー音が鳴ります。

5	本製品前面の [電源] ボタンを、「ドレミ、ピッ」となるまで長押しします。 →本製品がシャットダウンします。 ※省電力モード設定が「無効」の場合は「ピッ」となります。 ※ファームウェア更新のため、電源が切れるまで 10 ～ 20 分程度かかる場合があります。

6	USB メモリーを抜いて本製品前面の [電源] ボタンを押します。 →「ピー」と鳴り、電源ランプが緑点灯 / 青点灯すれば、本製品の起動は完了です。

7	本製品の設定画面の [詳細設定] → [ファームウェア更新] を開き、ファームウェアバージョンが最新になっていることを確認します。

これで、ファームウェアの更新は完了です。

コンテンツ操作

●コンテンツ操作に必要なソフトウェア

パソコンから操作する場合、Internet Explorer バージョン 7.0 以上、または、Safari バージョン 3.0 以上が必要です。

※対応テレビに搭載された Web ブラウザーからの操作にも対応しています。

ご注意

- 〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載の Web ブラウザーから操作する場合と、パソコンから操作する場合で、画面が異なります。
- パソコンで操作する場合、コンテンツ操作ツールは JavaScript を使用しています。Web ブラウザーの環境設定で、[JavaScript の使用] を [許可] に設定してください。

以下のページにお進みください。

操作	参照ページ
コンテンツを移動する	40 ページ
コンテンツを他の機器にムーブする	45 ページ
フォルダーを作成する	50 ページ
フォルダー名 / タイトル名を変更する	53 ページ
フォルダー / コンテンツを削除する	59 ページ
バックアップを作成する	65 ページ

※[コンテンツ操作]画面の各ボタンや表示については、【[コンテンツ操作]画面について】(69ページ) をご覧ください。

コンテンツを移動する

RECBOX の内蔵 HDD とカートリッジ間でコンテンツを移動することができます。

また、RECBOX の内蔵 HDD 内のフォルダー間や、カートリッジ内のフォルダー間でもコンテンツを移動することもできます。

USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対して、コンテンツの移動もできます。

ご注意

- 〈レグザ〉から直接録画し [disk1] に保存されているデータは、コンテンツ操作画面から直接移動できません。〈レグザ〉のリモコンから、本製品の「LAN-S」へ一度ダビングする必要があります。ダビングの方法は、別紙の【録画ガイド〈レグザ〉】をご覧ください。
- 内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。
- iVDR-S に録画中はコンテンツのムーブは行えません。

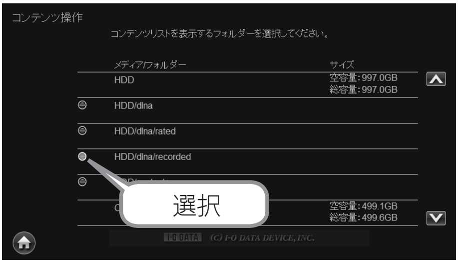
●操作を始める前に

内蔵 HDD とカートリッジ間、または、カートリッジ内のフォルダー間でコンテンツの移動を行う場合、本製品にカートリッジを挿入しておく必要があります。挿入方法は、【カートリッジを使う】(21 ページ) をご覧ください。

・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

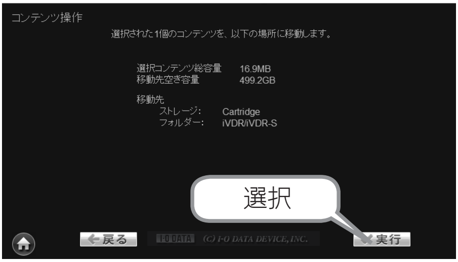
2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。 ※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。 ※フォルダーの意味については、【[コンテンツ操作] 画面について】内【テレビの場合】の「フォルダー」項目 (69 ページ) をご覧ください。



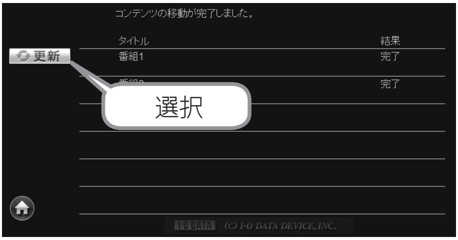
3	移動するコンテンツまたはフォルダーを選択し、[コンテンツ移動] を押します。 ※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の○がオレンジ色になります。

4	移動先のフォルダーが表示されます。コンテンツの移動先を選択します。 ※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

5 移動先などが表示されますので、確認し [実行] を押します。
→選択したコンテンツの移動が開始されますので、しばらくお待ちください。



6 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。



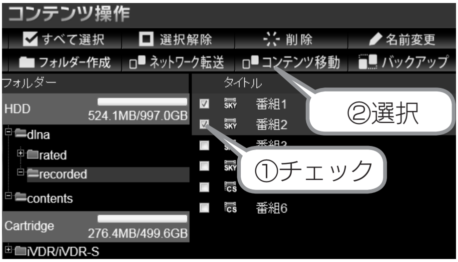
これでコンテンツの移動は完了です。
コンテンツが移動していることを確認してください。

・パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] をクリックします。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13 ページ) をご覧ください。

2	左のフォルダー一覧で、フォルダーを選択します。 ※フォルダーの意味については、【[コンテンツ操作] 画面について】内【パソコンの場合】の「フォルダー」項目 (71 ページ) をご覧ください。

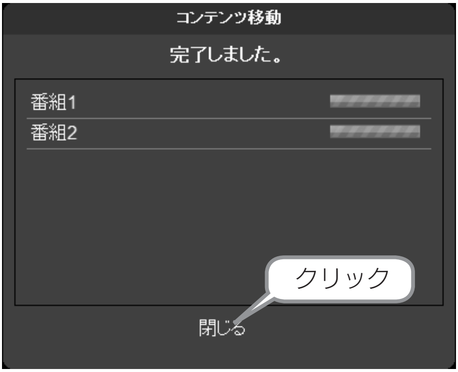
3	移動するコンテンツまたはフォルダーにチェックを付け、[コンテンツ移動] を選択します。



4	移動先のフォルダーを選択し、[次へ] をクリックします。

5	確認画面が表示されます。 移動先を確認後、[開始] をクリックします。 →選択したコンテンツの移動が開始されますので、しばらくお待ちください。

6	完了画面が表示されます。 確認後、[閉じる] をクリックします。



これで、コンテンツの移動は完了です。
移動先へ、コンテンツが移動していることを確認してください。

コンテンツを他の機器にムーブする

〈レグザ〉、Wooo などから RECBOX へダビングしたコンテンツを、他の機器にムーブすることができます。

また、[contents] フォルダーに保存されている動画、写真、音楽などのファイルも、他の機器にコピーすることができます。

●ネットワーク転送（アップロード）可能なフォーマット一覧

※拡張子が一致していても、形式が異なるコンテンツやファイルは、ネットワーク転送できない場合があります。

動画	mpg	mpe	mpeg	m2p	vob	tts	mts	m2ts	wmv
画像	jpg	jpeg							
音楽	mp3	wma	lpcm	pcm					

ご注意

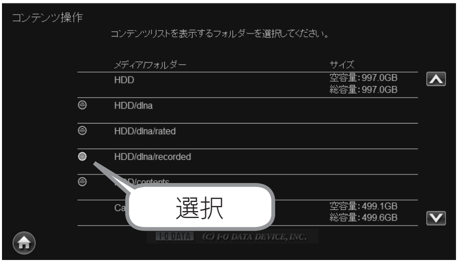
- iVDR-S に録画中はコンテンツのムーブは行えません。
- 【バックアップを作成する】(65 ページ) でバックアップした著作権保護コンテンツを他の機器にムーブした場合、バックアップファイルは消去されます。
- カートリッジにコンテンツをムーブ（コピー）する場合は、あらかじめムーブ元・ムーブ先となる機器のカートリッジへの録画を有効に設定しておく必要があります。
  ※設定方法は、【カートリッジへの録画、ムーブを有効にする】(23 ページ) をご覧ください。

●本製品から他の機器へムーブするには

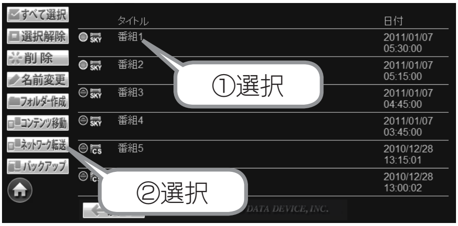
・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

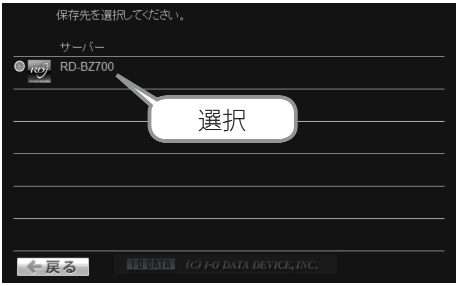
2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。 ※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。



3	ムーブするコンテンツを選択し、[ネットワーク転送] を押します。 ※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の〇がオレンジ色になります。



4	ムーブ先を選択します。 対象機器が複数表示されている場合は、ムーブ先の機器を選択します。 ※ムーブ先として選択した機器は、機器名の頭の〇がオレンジ色になります。



※レグザブルーレイ RD-BZ700 の場合

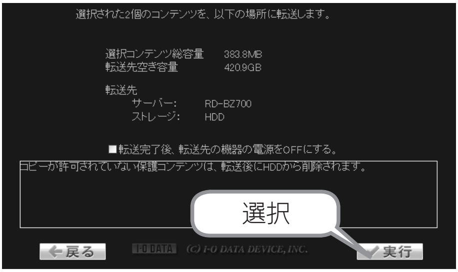
5	保存先を選択します。 ※選択した保存先は、保存先の頭の〇がオレンジ色になります。

[参考] ムーブ先に HVL-AVS シリーズを選択した場合

手順 4 でムーブ先に HVL-AVS シリーズを選択した場合、保存先に「Cartridge」も表示されます。

カートリッジにコンテンツをムーブする場合は、iVDR スロットにカートリッジを挿入した状態で、「Cartridge」を選択してください。

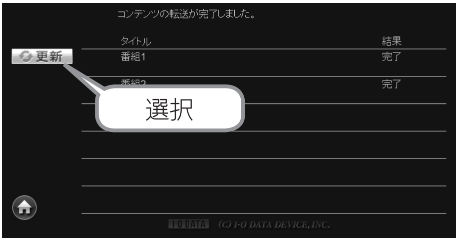
6 内容を確認し、[実行] を押します。
ムーブを開始し、状況が表示されます。
ムーブ中は本製品および転送先の機器の電源を OFF にしないでください。



[参考] レグザブルーレイや＜ヴァルディア＞を転送先としてムーブする場合

[転送完了後、転送先の機器の電源を OFF にする。] にチェックを付け、[開始] を選択すると、ムーブが終了後に転送先のレグザブルーレイや＜ヴァルディア＞の電源が自動的に OFF になります。

7 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。



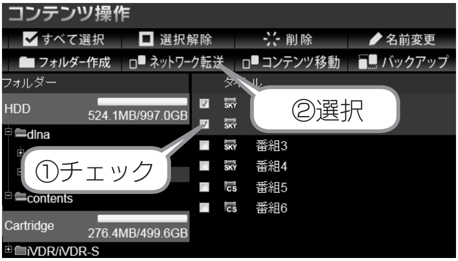
これで、ムーブは完了です。
転送先の機器にコンテンツがムーブされていることを確認してください。

・パソコンから操作する場合

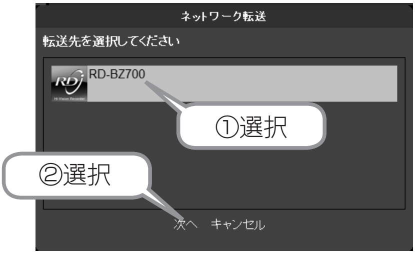
1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13 ページ) をご覧ください。

2 左のフォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

3 ムーブするコンテンツにチェックを付け、[ネットワーク転送] を選択します。

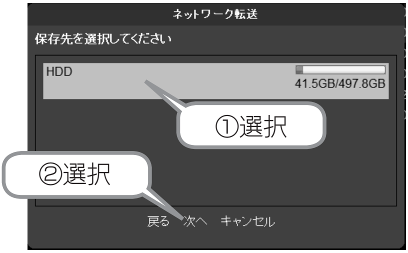


4 ムーブ先を選択します。
対象機器が複数表示されている場合は、ムーブ先の機器を選択して、[次へ] を選択します。



※レグザブルーレイ RD-BZ700 の場合

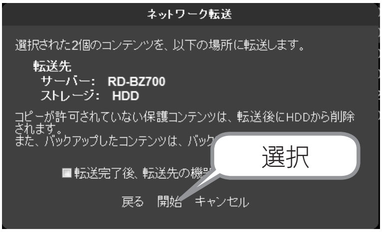
5	保存先を選択し、[次へ] を選択します。

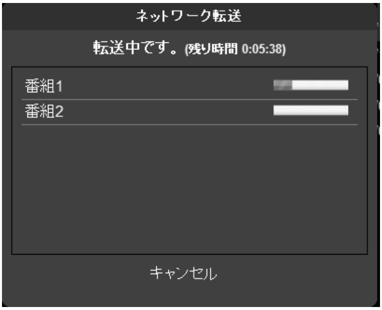


[参考] ムーブ先に HVL-AVS シリーズを選択した場合

手順 4 でムーブ先に HVL-AVS シリーズを選択した場合、保存先に「Cartridge」も表示されます。
カートリッジにコンテンツをムーブする場合は、iVDR スロットにカートリッジを挿入した状態で、「Cartridge」を選択してください。

6	内容を確認し、[開始] を選択します。ムーブを開始し、状況が表示されます。ムーブ中は本製品および転送先の機器の電源を OFF にしないでください。

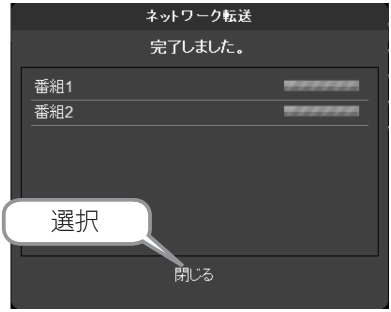




[参考] レグザブルーレイや＜ヴァルディア＞を転送先としてムーブする場合

[転送完了後、転送先の機器の電源を OFF にする。] にチェックを付け、[開始] を選択すると、ムーブが終了後に転送先のレグザブルーレイや＜ヴァルディア＞の電源が自動的に OFF になります。

7	「完了しました」と表示されたら、[閉じる] を選択します。



これで、ムーブは完了です。
転送先の機器にコンテンツがムーブされていることを確認してください。

フォルダーを作成する

フォルダーを新規で作成します。

ご注意

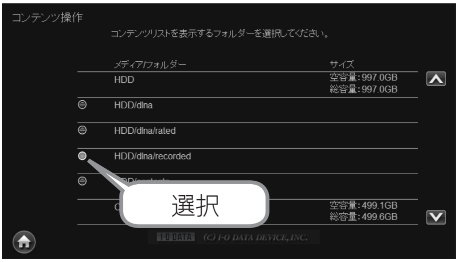
- 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。
  文字数：半角 255 文字（全角 85 文字）まで
  フォルダー名に使用できない文字：\ / : * ? " < > ¦ .
  .(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。
- iVDR-S 規格カートリッジに作成したフォルダーの中に、新規でフォルダーを作成することはできません。

※以下の手順は、[dlna] フォルダーの中にある [recorded] フォルダー内に、[folder1] というフォルダーを新規作成する場合の例です。

・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

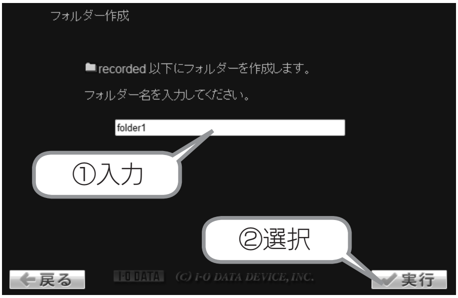
2 フォルダー一覧で、新規フォルダーの作成場所を選択します。
※作成場所として選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。



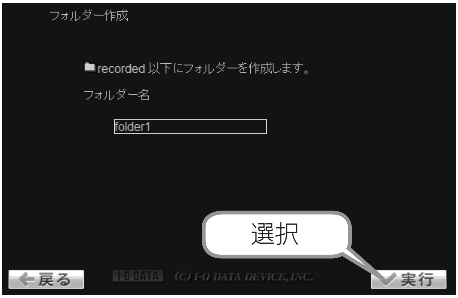
3 [フォルダー作成] を押します。

4 フォルダー名を入力し、[実行] を押します。

※文字には制限があります。
【文字制限】(94ページ)をご覧ください。



5 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。



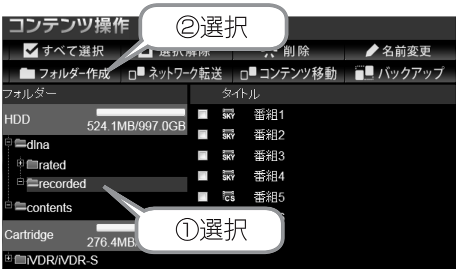
6 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

これで、フォルダーの作成は完了です。
フォルダーが作成されていることを確認してください。

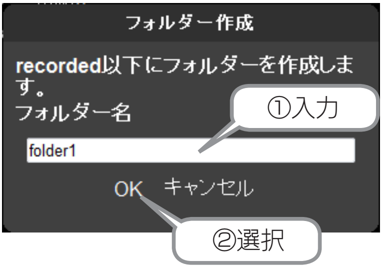
・パソコンから操作する場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13 ページ) をご覧ください。

2	左のフォルダー一覧で、新規フォルダーの作成場所を選択し、[フォルダー作成] を選択します。



3	フォルダー名を入力し、[OK] を選択します。 ※文字には制限があります。 【文字制限】(94ページ)をご覧ください。



これで、フォルダーの作成は完了です。
フォルダーが作成されていることを確認してください。

フォルダー名 / タイトル名を変更する

フォルダー名、またはコンテンツのタイトル名を変更することができます。

ご注意

●複数のフォルダーやコンテンツを選択して、変更することはできません。

●フォルダー名を変更する

ご注意

●以下の特殊な役割があるフォルダーの名前は変更できません。
[dlna]、[contents]、[iVDR/iVDR-S]、[RHDM]、[rated]、[recorded]

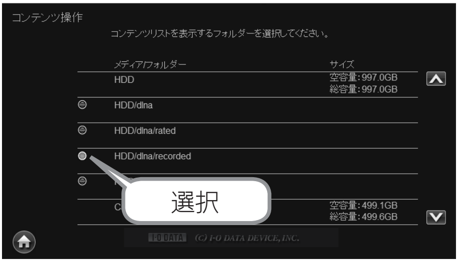
●本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。
文字数：半角 255 文字（全角 85 文字）まで
フォルダー名に使用できない文字：\ / : * ? " < > ¦ .
.(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。

※以下の手順は、[folder1] から [folder2] へフォルダー名を変更する場合の例です。

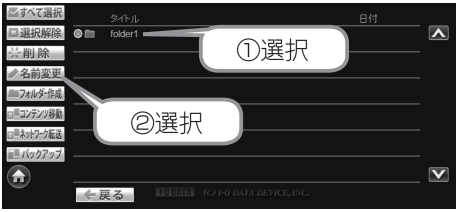
・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

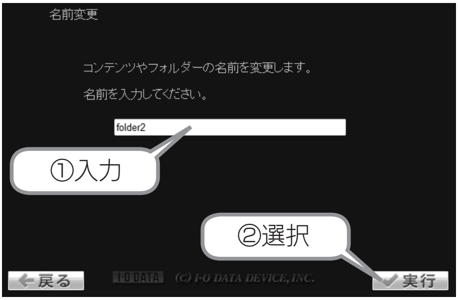
2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。 ※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。 ※ここでは、[folder1] を選択するのではなく、1 階層上のフォルダーを選択します。



3	変更するフォルダーを選択し、[名前変更] を押します。 ※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の〇がオレンジ色になります。



4	変更するフォルダー名を入力し、[実行] を押します。 ※文字には制限があります。 【文字制限】(94ページ)をご覧ください。



5	確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。

6	完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

これで、フォルダー名の変更は完了です。
フォルダー名が変更されていることを確認してください。

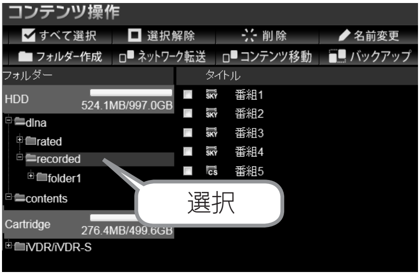
・パソコンから操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。

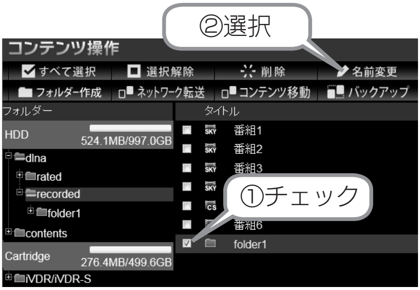
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13 ページ) をご覧ください。

2 左のフォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

※ここでは、[folder1] を選択するのではなく、1 階層上のフォルダーを選択します。

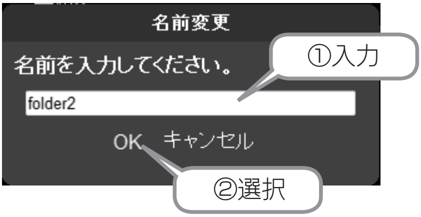


3 変更するフォルダーにチェックを付け、[名前変更] を選択します。



4 変更するフォルダー名を入力し、[OK] を選択します。

※文字には制限があります。【文字制限】(94 ページ) をご覧ください。



これで、フォルダー名の変更は完了です。

フォルダー名が変更されていることを確認してください。

●コンテンツのタイトル名を変更する

ご注意

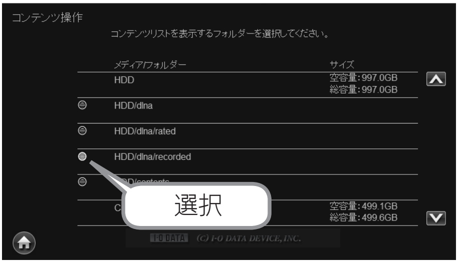
●本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。
文字数：半角 255 文字（全角 85 文字）まで
タイトル名に使用できない文字：. (ドット) のみ
.(ドット) はタイトル名の先頭のみ使用できません。

※以下の手順は、タイトル名 [番組 1] から [番組 10] へ変更する場合の例です。

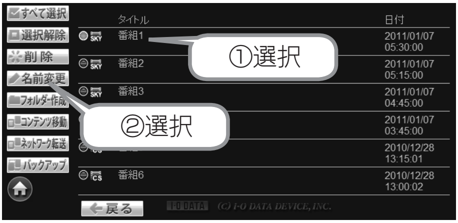
・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

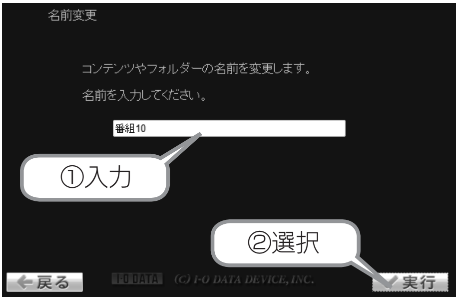
2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。



3 変更するコンテンツを選択し、[名前変更] を押します。
※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の○がオレンジ色になります。

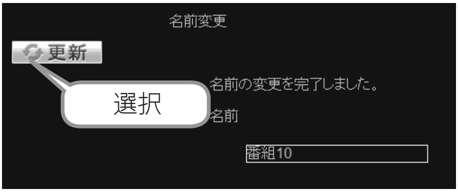


4 変更するタイトル名を入力し、[実行] を押します。
※文字には制限があります。
【文字制限】(94ページ)をご覧ください。



5 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。

6 完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。



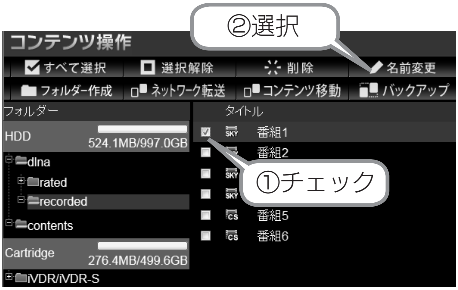
これで、コンテンツのタイトル変更は完了です。
タイトル名が変更されていることを確認してください。

・パソコンから操作する場合

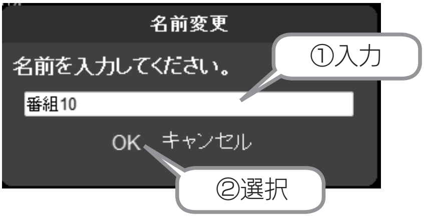
1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13 ページ) をご覧ください。

2 左のフォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

3 変更するコンテンツにチェックを付け、[名前変更] を選択します。



4 変更するタイトル名を入力し、[OK] を選択します。



これで、コンテンツのタイトル変更は完了です。
タイトル名が変更されていることを確認してください。

フォルダー / コンテンツを削除する

ご注意

- NTFS フォーマットのハードディスク内のフォルダーやコンテンツは削除できません。
- フォルダーを削除すると、フォルダー内のコンテンツも削除されます。

●フォルダーを削除する

ご注意

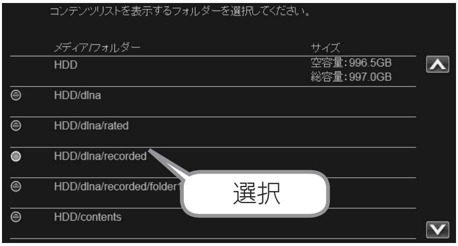
- 以下の特殊な役割があるフォルダーは削除できません。
  [dlna]、[contents]、[iVDR/iVDR-S]、[RHDM]、[rated]、[recorded]

※以下の手順は、フォルダー [folder1] を削除する場合の例です。

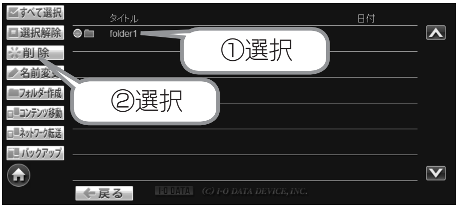
・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。
※ここでは、削除する [folder1] を選択するのではなく、1 階層上のフォルダーを選択します。

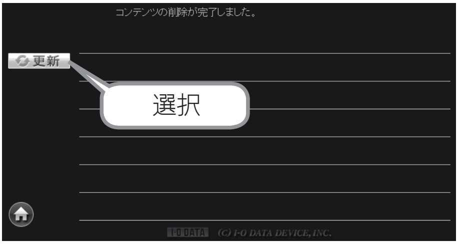


3 削除するフォルダーを選択し、[削除] を押します。
※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。



4	確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。

5	完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。

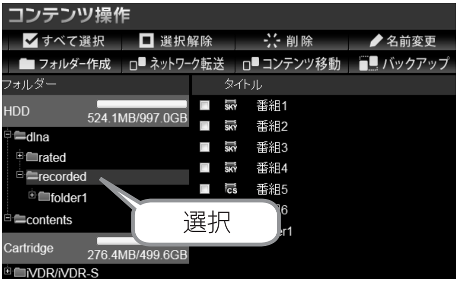


これで、フォルダーの削除は完了です。
フォルダーが削除されていることを確認してください。

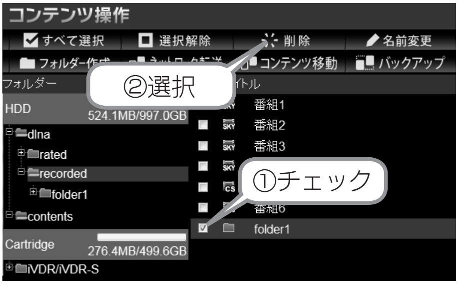
・パソコンから操作する場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13 ページ) をご覧ください。

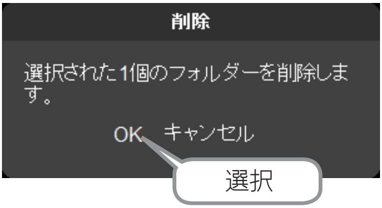
2 左のフォルダー一覧で、フォルダーを選択します。
※ここでは、削除する [folder1] を選択するのではなく、1 階層上のフォルダーを選択します。



3 削除するフォルダーにチェックを付け、[削除] を選択します。



4 確認画面が表示されますので、確認後、[OK] を選択します。



これで、フォルダーの削除は完了です。
フォルダーが削除されていることを確認してください。

●コンテンツを削除する

ご注意

●本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。

※以下の手順は、内蔵 HDD の [recorded] フォルダー内のコンテンツ「番組 1」、「番組 2」を削除する場合の例です。

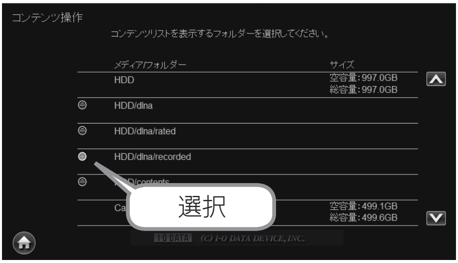
・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。

※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

2 フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。

※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

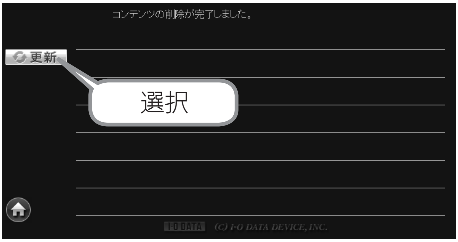


3 削除するコンテンツを選択し、[削除] を押します。

※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の○がオレンジ色になります。

4 確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。
→選択したコンテンツの削除が開始されますので、しばらくお待ちください。

5 完了画面が表示されますので、確認後、[更新] を選択します。

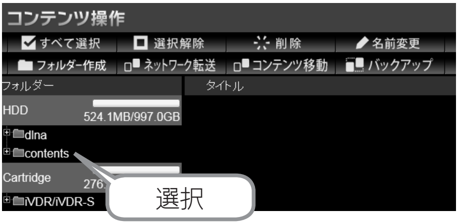


これで、コンテンツの削除は完了です。
コンテンツが削除されていることを確認してください。

・パソコンから操作する場合

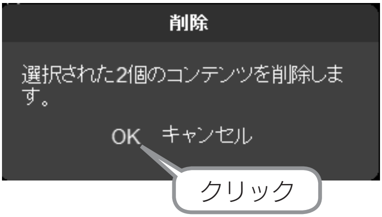
1 本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] をクリックします。
※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13 ページ) をご覧ください。

2 左のフォルダー一覧で、フォルダーを選択します。



3 削除するコンテンツを選択し、[削除] を選択します。

4 確認画面が表示されますので、確認し [OK] をクリックします。
→選択したコンテンツの削除が開始されますので、しばらくお待ちください。



これで、コンテンツの削除は完了です。
コンテンツが削除されていることを確認してください。

バックアップを作成する

コンテンツのバックアップの作成をします。

※カートリッジが、「専用フォーマット」にフォーマットされている場合に使用できます。

ご注意

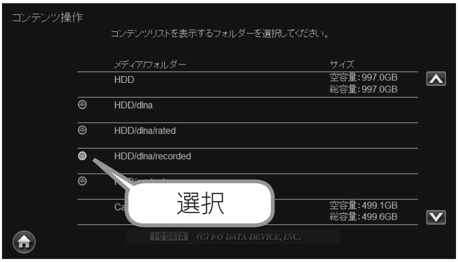
- ●バックアップした著作権保護コンテンツを他の機器にムーブした場合、バックアップファイルは消去されます。
- ● USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対してバックアップは可能ですが、内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してバックアップはできません。
- ●カートリッジにバックアップした番組は、バックアップした RECBOX でのみ再生できます。録画した RECBOX とは別の RECBOX や、RHDM-U シリーズなどに挿入しても再生することはできません。

※以下の手順は、内蔵 HDD の [recorded] フォルダー内のコンテンツを、カートリッジの [recorded] フォルダーへバックアップする場合の例です。

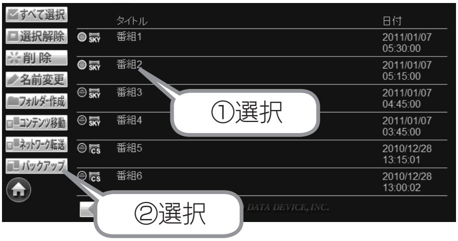
・〈レグザ〉や Wooo などのテレビに搭載のブラウザーから操作をする場合

1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作] を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

2	フォルダー一覧で、フォルダーを選択します。 ※選択したフォルダーは、フォルダー名の頭の○がオレンジ色になります。

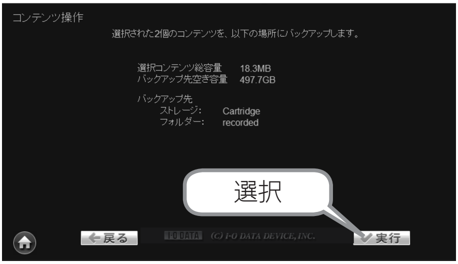


3	バックアップするコンテンツを選択し、[バックアップ] を押します。 ※選択したコンテンツは、コンテンツ名の頭の○がオレンジ色になります。

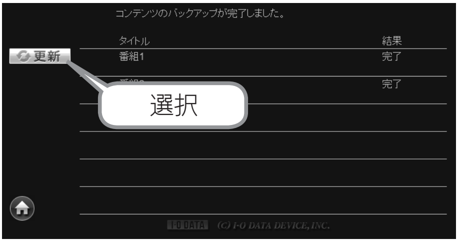


4	バックアップ先を選択します。 ※表示されるバックアップ先は、バックアップしたいコンテンツの保存先以外が表示されます。 ※選択したバックアップ先は、バックアップ先の頭の○がオレンジ色になります。

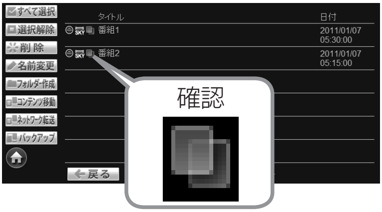
5	確認画面が表示されますので、確認後、[実行] を押します。



6	完了の画面が表示されますので、確認後、[更新] を押します。



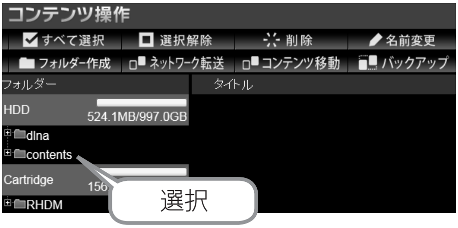
これで、コンテンツのバックアップは完了です。
バックアップ先に、コンテンツがバックアップされていることを確認してください。
バックアップ済みのコンテンツには、タイトル名の前にバックアップ済みアイコンが表示されます。



・パソコンから操作する場合

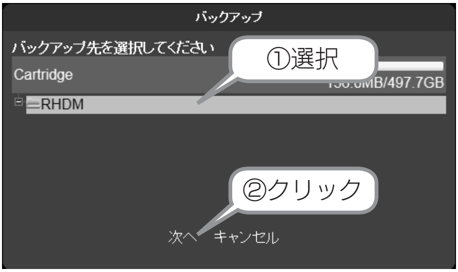
1	本製品の設定画面で、[コンテンツ操作]をクリックします。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】内【パソコンから開く】(13ページ)をご覧ください。

2	左のフォルダー一覧で、フォルダーを選択します。



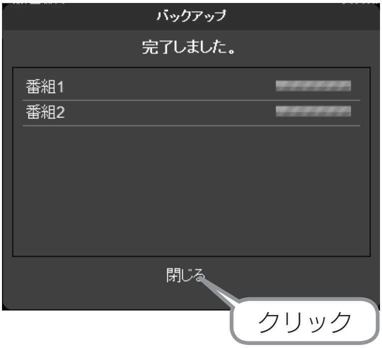
3	バックアップするコンテンツにチェックを付け、[バックアップ]をクリックします。

4	バックアップ先を選択し、[次へ]をクリックします。 ※表示されるバックアップ先は、バックアップしたいコンテンツの保存先以外が表示されます。



5	バックアップ先の確認画面が表示されます。確認後、[開始] をクリックします。 →コンテンツのバックアップが開始されますので、しばらくお待ちください。

6	完了の画面がされますので、確認後、[閉じる] をクリックします。



これで、コンテンツのバックアップは完了です。
バックアップ先に、コンテンツがバックアップされていることを確認してください。
バックアップ済みのコンテンツには、
タイトル名の前にバックアップ済みアイコンが表示されます。

[コンテンツ操作] 画面について

▼テレビの場合

●テレビの場合

すべて選択	「タイトル」内に表示されたコンテンツ全てを選択します。
選択解除	選択したコンテンツの選択を解除します。
削除	選択したフォルダー、コンテンツを削除します。(59 ページ参照) ※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。 ※ NTFS フォーマットのハードディスクに入ったフォルダーやコンテンツは削除できません。 ※以下の特殊な役割があるフォルダーは削除できません。 [dlna]、[contents]、[iVDR/iVDR-S]、[RHDM]、[rated]、[recorded] ※フォルダーを削除すると、フォルダー内のコンテンツも削除されます。 ※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。
名前変更	コンテンツ、またはフォルダーのタイトル名の編集します。(53 ページ参照) ※文字には制限があります。【文字制限】(94 ページ) を参照してください。 ※複数コンテンツを選択してタイトル編集を行うことはできません。 ※以下の特殊な役割があるフォルダーの名前は変更できません。 [dlna]、[contents]、[iVDR/iVDR-S]、[RHDM]、[rated]、[recorded]
フォルダー作成	フォルダーを新規に作成します。(50 ページ参照) ※文字には制限があります。【文字制限】(94 ページ) を参照してください。
コンテンツ移動	内蔵 HDD、カートリッジ間で、コンテンツの移動を行います。(40 ページ参照) また、内蔵 HDD 内のフォルダー間や、カートリッジ内のフォルダー間でもコンテンツの移動を行うことができます。USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対して、コンテンツの移動もできます。 ※〈レグザ〉から直接録画し [disk1] に保存されているデータは、コンテンツ操作画面から直接移動できません。 ※内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。
ネットワーク転送	選択したコンテンツを指定の機器にムーブします。(45 ページ参照) また、複数のコンテンツを一括ムーブできます。 ※バックアップした著作権保護コンテンツを他の機器にムーブした場合、バックアップファイルは消去されます。
バックアップ	コンテンツのバックアップの作成をします。(65 ページ参照) ※カートリッジが、「専用フォーマット」にフォーマットされている場合に使用できます。 ※バックアップした著作権保護コンテンツを他の機器にムーブした場合、バックアップファイルは消去されます。 ※ USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対してバックアップは可能ですが、内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してバックアップはできません。
ホーム	設定画面に戻ります。

●テレビの場合（つづき）

フォルダー	HDD	内蔵 HDD 内のフォルダーやコンテンツを表示します。
	Cartridge	Cartridge 内のコンテンツを表示します。 ※カートリッジを本製品に挿入している場合のみ表示されます。
	USB	USB 機器内のフォルダーやコンテンツが表示されます。 ※ USB 機器を、本製品に接続している場合のみ表示されます。 ※ USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対してコンテンツの移動やバックアップは可能ですが、内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してコンテンツの移動やバックアップはできません。
	dlna	デジタル対応機器や、地デジ対応パソコンからのダビングやムーブされたコンテンツが保存されています。
	rated	視聴年齢制限の録画コンテンツが保存されています。
	recorded	視聴年齢制限以外の録画コンテンツが保存されています。
	contents	パソコンから保存された DLNA コンテンツが保存されています。
タイトル	コンテンツの一覧が表示されます。 タイトル横の矢印を選択すると、タイトル順に並べ替えできます。	
日付	コンテンツの録画日時が表示されます。 日付横の矢印を選択と、日付順に並べ替えできます。	
ページ移動ボタン（画面右側）	1 画面に 6 行まで表示できます。6 行を超える場合はページ移動ボタンを押し、ページを移動させ表示します。	

▼パソコンの場合

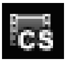
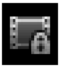
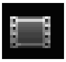
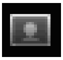
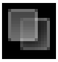
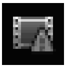
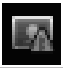
●パソコンの場合

すべて選択	「タイトル」内に表示されたコンテンツすべてを選択します。
選択解除	選択したコンテンツの選択を解除します。
削除	選択したフォルダー、コンテンツを削除します。(59 ページ参照) ※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。 ※ NTFS フォーマットのハードディスクに入ったフォルダーやコンテンツは削除できません。 ※以下の特殊な役割があるフォルダーは削除できません。 [dlna]、[contents]、[iVDR/iVDR-S]、[RHDM]、[rated]、[recorded] ※フォルダーを削除すると、フォルダー内のコンテンツも削除されます。 ※本製品の設定画面から、他の機器にムーブしたコンテンツを削除することはできません。
名前変更	コンテンツ、またはフォルダーのタイトル名の編集します。(53 ページ参照) ※文字には制限があります。【文字制限】(94 ページ) を参照してください。 ※複数コンテンツを選択してタイトル編集を行うことはできません。 ※以下の特殊な役割があるフォルダーの名前は変更できません。 [dlna]、[contents]、[iVDR/iVDR-S]、[RHDM]、[rated]、[recorded]
フォルダー作成	フォルダーを新規に作成します。(50 ページ参照) ※文字には制限があります。【文字制限】(94 ページ) を参照してください。
ネットワーク転送	選択したコンテンツを指定の機器にムーブします。(45 ページ参照) また、複数のコンテンツを一括ムーブできます。 ※バックアップした著作権保護コンテンツを他の機器にムーブした場合、バックアップファイルは消去されます。
コンテンツ移動	内蔵 HDD、カートリッジ間で、コンテンツの移動を行います。(40 ページ参照) また、内蔵 HDD 内のフォルダー間や、カートリッジ内のフォルダー間でもコンテンツの移動を行うことができます。USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対して、コンテンツの移動もできます。 ※〈レグザ〉から直接録画し [disk1] に保存されているデータは、コンテンツ操作画面から直接移動できません。 ※内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してコンテンツの移動はできません。
バックアップ	コンテンツのバックアップの作成をします。(65 ページ参照) ※カートリッジが、「専用フォーマット」にフォーマットされている場合に使用できます。 ※バックアップした著作権保護コンテンツを他の機器にムーブした場合、バックアップファイルは消去されます。 ※ USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対してバックアップは可能ですが、内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してバックアップはできません。
ホーム	設定画面に戻ります。

●パソコンの場合（つづき）

フォルダー	HDD	内蔵 HDD 内のフォルダーやコンテンツを表示します。
	Cartridge	カートリッジ内のフォルダーやコンテンツを表示します。 ※カートリッジを本製品に挿入している場合のみ表示されます。
	USB	USB 機器内のフォルダーやコンテンツが表示されます。 ※ USB 機器を、本製品に接続している場合のみ表示されます。 ※ USB 機器から、内蔵 HDD またはカートリッジに対してコンテンツの移動やバックアップは可能ですが、内蔵 HDD またはカートリッジから、USB 機器に対してコンテンツの移動やバックアップはできません。
	dlna	デジタル対応機器や、地デジ対応パソコンからのダビングやムーブされたコンテンツが保存されています。
	rated	視聴年齢制限の録画コンテンツが保存されています。
	recorded	視聴年齢制限以外の録画コンテンツが保存されています。
	contents	パソコンから保存された DLNA コンテンツが保存されています。
タイトル	コンテンツの一覧が表示されます。 タイトルをクリックすると、タイトル順に並べ替えできます。	
日付	コンテンツの録画日時が表示されます。 日付をクリックすると、日付順に並べ替えできます。	
ページ移動ボタン（画面下部）	コンテンツは 1 画面に 20 行まで表示できます。20 行を超える場合は複数のページに分割されて表示されますので、ページ移動ボタンを選択し、ページを移動させ表示します。	

●コンテンツのアイコン表示

	地上波デジタルコンテンツ
	CS コンテンツ
	BS コンテンツ
	スカパー！コンテンツ
	ビデオ　コンテンツ　（著作権保護あり） アクトビラダウンロードセルコンテンツ、Wooo で TSXn(n は数字) と表記された録画モードで録画したコンテンツなど。
	ビデオ コンテンツ (著作権保護なし)
	写真コンテンツ
	音楽コンテンツ
	バックアップ済みコンテンツ ※バックアップした著作権保護コンテンツを他の機器にムーブした場合、バックアップファイルは消去されます。
	コンテンツ形式が DLNA プロファイルから外れたビデオ。※1
	コンテンツ形式が DLNA プロファイルから外れた写真。※1
	コンテンツ形式が DLNA プロファイルから外れた音楽コンテンツ。※1

※１　コンテンツの移動、バックアップは可能ですが、他の機器へコンテンツをムーブすることはできません。

ディスク状況表示

内蔵 HDD 、カートリッジ、接続されている USB ハードディスクの状況を表示します。

1	本製品の設定画面で、［ディスク状況表示］を選択します。 ※設定画面の開き方は、【設定画面の開き方】(11 ページ) をご覧ください。

2	［ディスク状況表示］画面が表示されます。

※カートリッジ、USB ハードディスクを接続した場合の例

総容量	ボリューム全体の容量を表示します。 （1Kbyte ＝ 1000byte にて算出しています。）
空き容量	ボリュームの空き容量を表示します。%は空き容量の占める割合です。 （1Kbyte ＝ 1000byte にて算出しています。）

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

アイ・オー・データ　ホームページをご覧ください

URL [http://www.iodata.jp/support/]

サポートページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、[ステータス] ランプが赤点灯し、ブザーがピーと３回鳴った	77 ページ

セットアップ時のトラブル

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない	77 ページ
USB 機器を接続したら、[ステータス] ランプが赤点灯し、ブザーが「ピー」と３回鳴った	80 ページ
[本製品の名前] を変更したい	80 ページ
[Magical Finder] で設定できない	80 ページ
[Magical Finder] で本製品が検索されない	80 ページ
パソコンの IP アドレスがわからない	82 ページ

本製品へアクセス時のトラブル

パソコンからのアクセス時に、［RECBOX］が見つからない	83 ページ
〈レグザ〉やスカパー！HD 対応チューナーから本製品が見つからない	84 ページ
ソニー製スカパー！HD 対応チューナー (DST-HD1) で本製品が表示されない	85 ページ
スカパー！HD 対応チューナーで番組予約時に、「録画先の空き容量を確認してください」と表示された	85 ページ
PlayStation3 でシーンサーチをしていると「データが壊れています。」と表示された	85 ページ
録画した番組が再生できない	85 ページ

設定画面のトラブル

設定画面で文字が入力できない	85 ページ
設定画面上から入力できる文字制限について	86 ページ
「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」と表示された	86 ページ
設定画面の動作が遅い	86 ページ
ファームウェアの更新が終わらない	86 ページ
テレビに搭載のブラウザーから操作中にタイムアウトエラーが発生した	86 ページ

本製品の IP アドレスについて

IP アドレスを出荷時設定に戻したい	87 ページ
本製品の IP アドレスを手動で設定したい	87 ページ
本製品の IP アドレスを確認したい	88 ページ

ランプやブザーについて

ランプの動作について知りたい	89 ページ
[ステータス] ランプが赤点灯している	89 ページ
[更新」ランプが橙点灯している	89 ページ

内蔵や USB ハードディスクについて

USB ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について	89 ページ
デフラグ機能はありますか?	89 ページ

タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない	90 ページ

その他

本製品のダビング手順について	90 ページ
突然電源が切れた	90 ページ
カートリッジに録画したはずの（バックアップした）データがない	90 ページ

本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、[ステータス] ランプが赤点灯し、ブザーが「ピー」と 3 回鳴った

原因	USB ハードディスクが正しく接続できていない。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が本製品に接続した場合、接続に失敗したことを [ステータス] ランプの赤点灯で表示します。この場合は該当する接続した機器を本製品から取り外してください。[ステータス] ランプが消灯します。（しばらくすると電源ランプは緑点灯 / 青点灯に変わります。）

セットアップ時のトラブル

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処	ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。 以下の【方法1】あるいは【方法2】などの手順で確認できます。

【方法1】パソコンの IP アドレスの設定で確認する

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。

（IP アドレスの設定が [DHCP サーバーから取得する] 設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。）

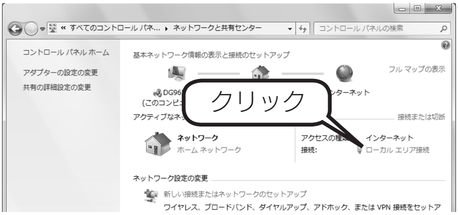
● Windows 7、Vista の場合

1	Windows 7 の場合は、［スタート］→［コンピューター］→［ネットワーク］をクリックします。 Windows Vista の場合は、［スタート］→［ネットワーク］をクリックします。

2	［ネットワークと共有センター］をクリックします。

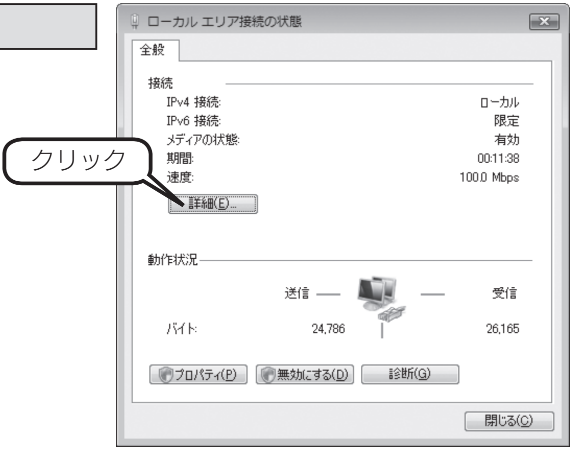
3	Windows 7 の場合は、[ローカル エリア接続] をクリックします。 Windows Vista の場合は、[状態の表示] をクリックします。

▼Windows 7 の場合

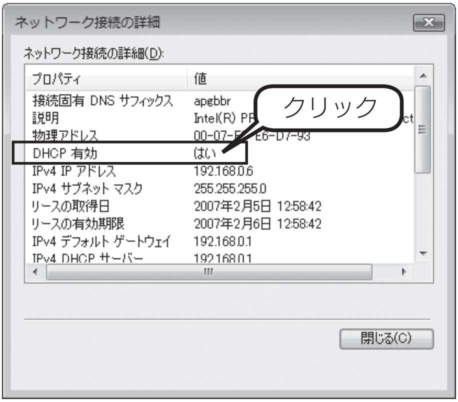


▼Windows Vista の場合

4	[詳細] をクリックします。



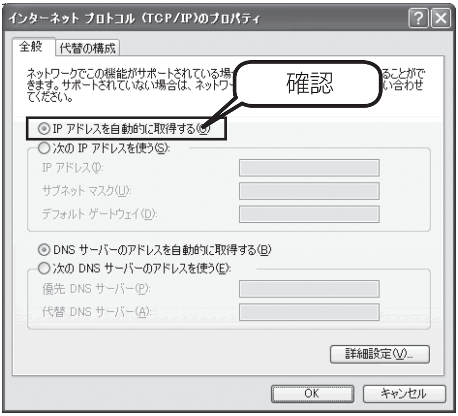
5	[DHCP 有効] 欄に [はい] と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



● Windows XP の場合

1 パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。

2 パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得（する）] となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。



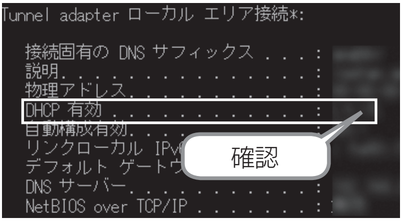
【方法2】Windows 標準添付のツールを使って確認する

Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

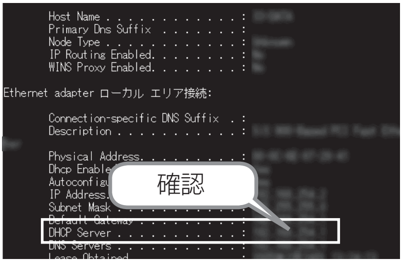
1 ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2 IPCONFIG　-ALL
　（G と - の間にスペースが入ります）
と入力して［Enter］キーを押します。

3 ● Windows 7、Vista の場合
DHCP 有効の欄に「はい」が表示されている場合は、DHCP サーバーがあります。



● Windows XP の場合
[DHCP Server] 欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



USB 機器を接続したら、[ステータス] ランプが赤点灯し、ブザーが「ピー」と 3 回鳴った

原因	USB ハードディスクが正しく接続できていない。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを [ステータス] ランプの赤点灯で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。[ステータス] ランプが消灯します。（しばらくすると電源ランプは緑点灯 / 青点灯に変わります。）

[本製品の名前] を変更したい

対処	[かんたん設定] 画面で変更できます。 また、「EasySetup on USB」でも変更できます。 USB メモリーをご用意いただき、「EasySetup on USB」は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/product/av/hdr/hvl-avs/support）からダウンロードしてお使いいただけます。「EasySetup on USB」の使用方法は、ダウンロード先にある【EasySetup onUSB の使い方】をご覧ください。

[Magical Finder] で設定できない

原因	本製品がパソコンと同じネットワーク環境ではない場所に設置されている。
対処	USB メモリーをご用意いただき、「EasySetup on USB」にて設定できます。 「EasySetup on USB」は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/product/av/hdr/hvl-avs/support）からダウンロードしてお使いいただけます。 「EasySetup on USB」の使用方法は、ダウンロード先にある【EasySetup on USB の使い方】をご覧ください。

[Magical Finder] で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（[電源] ランプが緑点灯 / 青点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。
対処	他のパソコンで [Magical Finder] を起動してご確認ください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止して、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、[Magical Finder]をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。 (詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください)。 ＜参考：Windows 7 の Windows ファイアウォール機能の除外設定＞ ①あらかじめ [Magical Finder] をパソコンにインストールします。 解凍したファイルの [INSTALL] フォルダー内 [SETUP.EXE] を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。 ②［スタート］-［コントロールパネル］を開き、コントロールパネルの検索に「Windows ファイアウォールによるプログラムの許可」と入力します。 ③ [Windows ファイアウォール]-[許可されたプログラム] の画面が開いたら、画面内の [設定の変更] ボタンをクリックします。 ④一覧から [Magical Finder] を選択し、チェックボックスにチェックをつけた後、［OK］ボタンをクリックします。 以上で設定は完了です。 ＜参考：Windows Vista の Windows ファイアウォール機能の除外設定＞ ①あらかじめ [Magical Finder] をパソコンにインストールします。 解凍したファイルの [INSTALL] フォルダー内 [SETUP.EXE] を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。 ②［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。 ③［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。 ④一覧から [Magical Finder] を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 ⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。 以上で設定は完了です。 ＜参考：Windows XP ServicePack3 の Windows ファイアウォール機能の除外設定＞ ①あらかじめ [Magical Finder] をパソコンにインストールします。 解凍したファイルの [INSTALL] フォルダー内 [SETUP.EXE] を起動し、画面の指示にしたがいインストールを行ってください。 ②［スタート］-［コントロールパネル］-［セキュリティセンター］を開きます。 ③一番下の「Windows ファイアウォール」をクリックします。 ④［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。 ⑤一覧から [Magical Finder] を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 ⑥「プログラムおよびサービス」の一覧に [Magical Finder] が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。 以上で設定は完了です。

原因	本製品が再起動中である
対処	本製品が起動するまで（[電源] ランプが緑点灯 / 青点灯するまで）お待ちください。

パソコンの IP アドレスがわからない

対処	[Magical Finder] で確認することができます。弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/) からダウンロードして、以下の方法で確認してください。

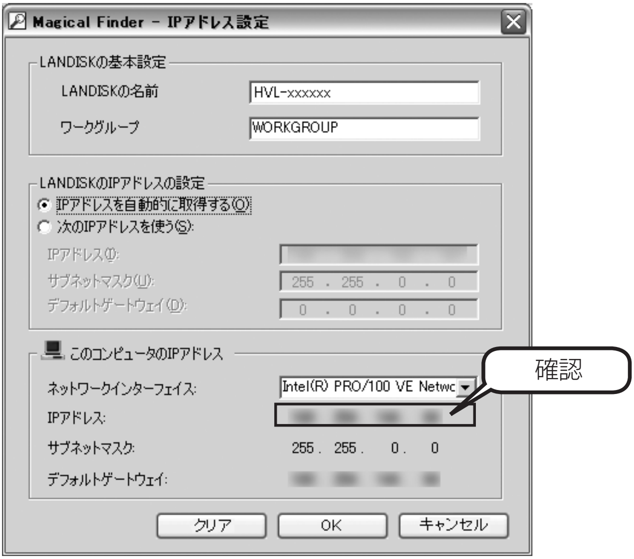
●パソコンの IP アドレスを確認する

1	[Magical Finder] を起動します。

2	［IP 設定］ボタンをクリックします。

3	管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK] ボタンをクリックします。

4	表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピュータの IP アドレス］で確認できます。



本製品へアクセス時のトラブル

パソコンからのアクセス時に、［RECBOX］が見つからない

原因	フォルダー公開が有効になっていない。
対処	設定画面の［詳細設定］→［フォルダー公開］で､[コンテンツフォルダー公開] を「有効」にしてください。

原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（[電源] ランプが点灯しているか）、接続ケーブルがLAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュー名（初期値は 「HVL-xxxxxx」）を使用できるように設定してください。 詳しくはお使いのソフトウェアの説明書をご覧ください。

原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。

原因	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	・設定画面が開けることをご確認ください。 ・LAN アダプタが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、お使いのパソコンまたは、各 LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。）

原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、[HVL-xxxxxx](コンピュータ名) の文字での検索では検索されない。
対処	弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/) からダウンロードした [Magical Finder] を起動します。[Magical Finder] を起動すると、自動で本製品を検出し、設定されている IP アドレスが表示されます。表示された IP アドレスを入力して検索してください。

原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	▼ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合 →いったん本製品の電源を入れ直して、再度検索できるかどうかお試しください。 ▼ DHCP サーバーがない場合 →本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	すでに RECBOX を使用しているネットワーク内へ本製品を導入する際に、本製品の名前が重複している。
対処	本製品を複数台使用する場合は、本製品の名前をすでに導入済みの RECBOX と重複しない名前に変更する必要があります。 本製品の名前は、[Magical Finder] を起動し、IP アドレスの設定で [LANDISK の名前] を変更するか、【かんたん設定】(14 ページ) から変更できます。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。

〈レグザ〉やスカパー ! HD 対応チューナーから本製品が見つからない

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源がはいっているか（[電源] ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているかを確認してください。 ブロードバンドルーターや、ハブ経由で接続している場合は、LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

対処	スカパー ! ブランドチューナー (SP-HR200H、SP-HR250H) で「HD 録画機器が見つかりません」と表示される場合、以下の手順でチューナーの [ネットワーク設定] を変更し、機器の登録を設定し直してください。 ①リモコンの メニュー を押します。 ② で [端末設定] を選択後、 で [LAN 設定] を選択し、 決定 を押します。 ③ でネットワーク設定を [LAN] へ、アドレス取得方法を [DHCP 使用] へ変更後、[設定] を選択し、 決定 を押します。 スカパー ! HD 対応チューナーと本製品を直接接続している場合、「AutoIP で設定します。」のメッセージが表示されます。メッセージが消えたら、[設定] を選択し、 決定 を押してください。

ソニー製スカパー！HD 対応チューナー (DST-HD1) で本製品が表示されない

原因	録画機器の登録の際に [サーバー機器一覧]、または、[録画先サーバー一覧] に 本製品 が表示されない。
対処	以下の手順にしたがい、正常に認識するかお試しください。 ①ソニー製スカパー！HD 対応チューナー (DST-HD1) と 本製品の電源を OFF にします。 ②本製品の電源を ON にします。 ③しばらくすると、本製品が「ピーッ」と鳴りますので、そのブザーを確認してから、ソニー製スカパー！HD 対応チューナー (DST-HD1) の電源を ON にします。 ④ソニー製スカパー！HD 対応チューナー (DST-HD1) 前面パネルの [リセット] ボタンを押して再起動します。

スカパー！HD 対応チューナーで番組予約時に、「録画先の空き容量を確認してください」と表示された

原因	録画先の空き容量が少ない。
対処	録画先（内蔵 HDD または カートリッジ）の残容量を確認してください。

原因	カートリッジを録画先として番組予約しているが、カートリッジが挿入されていない。
対処	カートリッジを挿入してください。

PlayStation3 でシーンサーチをしていると「データが壊れています。」と表示された

原因	PlayStation3 からの高速なリクエストに本製品が応答しきれなかった場合にまれに表示されることがあります。
対処	コンテンツは破損しておりませんので、PlayStation3 または本製品を再起動することで、通常通りご使用いただけます。

録画した番組が再生できない

原因	録画した番組のファイル形式と再生機側で再生可能なファイル形式が合致していない。
対処	再生機の対応している録画モードをご確認ください。

設定画面のトラブル

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。【文字制限】(94 ページ) をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限】(94 ページ) をご覧ください。

「現在システムは処理中です。しばらく待ってから操作してください。」と表示された

原因	システムの処理に忙しく、処理が追いついていない。
対処	他の設定処理が実行中でないかご確認ください。 設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。しばらく待ってから、再度操作を行ってください。

原因	ファームウェアが正常に動作していない。
対処	①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。 ②本製品の初期化を行ってください。【システム初期化】(35 ページ) をご覧ください。

設定画面の動作が遅い

原因	ファイル転送中など、本製品の処理動作中である。
対処	以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合あります。 処理が終了するまでお待ちください。 ・ファイル再生中 / ムーブ中　・DLNA データベース更新中　・スピンアップ中

ファームウェアの更新が終わらない

対処	本製品の電源スイッチを押して、電源をいったん切り、再起動してください。 その後、再度ファームウェアの更新を行ってください。

テレビに搭載のブラウザーから操作中にタイムアウトエラーが発生した

原因	大量のファイル削除など、処理動作に時間がかかる操作を行った場合、お使いのテレビに搭載のブラウザーによっては、タイムアウトとなる。
対処	しばらくお待ちの後、再度設定画面を表示してください。 なお、タイムアウトエラーになっても、再度設定画面を開いた際に処理動作が完了している場合があります。また、複数のファイルを選択した上での操作の場合は、選択するファイル数を少なくして操作するなどしてください。

本製品の IP アドレスについて

IP アドレスを出荷時設定に戻したい

対処	本製品背面の [リセット] ボタンで IP アドレスのみを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。 以下の方法で本製品の IP アドレスの設定を出荷時設定に戻してください。 【IP アドレスを出荷時設定に戻す方法】 ①本製品の電源が入っていること（[電源] ランプが点灯していること）を確認します。 電源が入っていない場合は、電源を入れます。 ②背面の [リセット] ボタンを先の細いもので約 2 秒以上、[電源] ランプが点滅し、「ピッ」と音が鳴るまで押します。 ③ [電源] ランプが緑点灯 / 青点灯すれば、初期化完了です。

ご注意

- ●初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
- ●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）
- ●ネットワークに接続したまま行うことができます。
- ● [電源] ランプ点滅中には、初期化しないでください。

本製品の IP アドレスを手動で設定したい

対処	【本製品の IP アドレスを手動で設定する方法】 ●「Magical Finder」で設定する場合 ①弊社ホームページ (http://www.iodata.jp/lib/) から [Magical Finder] をダウンロードし、起動します。 ② [IP 設定] ボタンをクリックします。 ●本製品の設定画面から設定する場合 [かんたん設定] で設定します。【かんたん設定】(14 ページ) をご覧ください。

対処	USB メモリーをご用意いただき、「EasySetup on USB」にて設定できます。 「EasySetup on USB」は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/product/av/hdr/hvl-avs/support）からダウンロードしてお使いいただけます。 「EasySetup on USB」の使用方法は、ダウンロード先にある【EasySetup on USB の使い方】をご覧ください。

本製品の IP アドレスを確認したい

対処

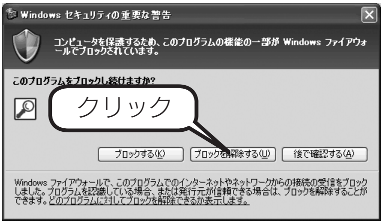
・パソコンの場合

[Magical Finder] で確認することができます。弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/) からダウンロードして、以下の方法で確認してください。

① [Magical Finder] を起動します。

ご注意

右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。



右の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。
その後 [ユーザカウント制御] が表示された場合は、「続行する」をクリックしてください。

②画面に表示された IP アドレスが、本製品の IP アドレスです。

・DLNA 対応機器の場合

①コンテンツの再生画面を開きます。

②機器の選択画面で、本製品 (HVL-xxxxxx[RECBOX]) を選択します。

③ [Folders] または [フォルダー] を選択します。

④ [info] を選択します。

⑤タイトルに表示されている IP アドレスが、現在の IP アドレスです。

ランプやブザーについて

ランプの動作について知りたい

対処	【ランプの表示】(92 ページ) をご覧ください。

[ステータス] ランプが赤点灯している

原因	USB ハードディスクが正しく接続できていない。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB ポートに接続された場合、接続に失敗したことを [ステータス] ランプの赤点灯で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取外してください。[ステータス] ランプが消灯します。（しばらくすると電源ランプは緑点灯 / 青点灯に変わります。）

[更新」ランプが橙点灯している

原因	本製品がインターネット接続されている場合、最新ファームウェア自動チェック機能により弊社ホームページに最新ファームウェアが公開されていることを示しています。
対処	ファームウェア更新を行ってください。 【●ファームウェアの更新手順】(38 ページ) をご覧ください。

内蔵や USB ハードディスクについて

USB ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

対処	FAT 形式や NTFS 形式のハードディスクは、そのままパソコンでご利用になれます。再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの USB ハードディスクの取扱説明書を参照してください。 ※フォーマットするとデータはすべて消去されますのでご注意ください。

デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありませんが、本製品に採用しているファイルシステムの仕様により、フラグメンテーション（断片化）が起こりにくい仕様となっています。

タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない

原因	［IP アドレス設定］で正しく設定されていない。
対処	設定画面の [かんたん設定］→［IP アドレス設定］で､「ゲートウェイ」と「DNS サーバ」を設定してください。 入力するゲートウェイと DNS サーバの IP アドレスは、〈レグザ〉などで設定されているものと同じ値に設定し、タイムサーバーとの同期ができるかどうかご確認ください。 本製品がインターネット接続されていない場合は、タイムサーバー機能はご使用になれません。設定画面の [かんたん設定] → [時刻の設定] で手動で設定してください。

その他

本製品のダビング手順について

対処	本製品は、「スカパー！HD 録画」や「レグザダビング」のみでなく、各社のダビング対応機器と組み合わせてご利用いただけます。 詳しくは、以下の URL にアクセスし、操作手順をご確認ください。 http://www.iodata.jp/product/av/hdr/hvl-avs/support

突然電源が切れた

対処	本製品には、本体内の温度が異常に高くなった場合に、自動的にシャットダウンする機能が搭載されています。設置場所の室温が異常に高い場合などに、自動的にシャットダウンされることがあります。

カートリッジに録画したはずの（バックアップした）データがない

原因	カートリッジが録画時挿入されていなかった
対処	優先録画先がカートリッジに設定されているのに､カートリッジが挿入されていなかった場合、自動的に録画先は内蔵 HDD に変更されます。 内蔵 HDD 側に保存されていないか確認してください。

原因	バックアップしたコンテンツを他の機器にムーブした
対処	著作権保護のため、バックアップを行ったデータは、同じデータを他の機器にムーブした場際、残りのデータを自動的に削除する仕様となっています。

仕様

ハードウェア仕様

インターフェイス	LAN インターフェイス	転送規格	1000BASE-T /100BASE-TX/10BASE-T
		コネクター	RJ-45x1 (Auto-MDI/MDI-X 対応)
	USB ポート	転送規格	USB2.0(1.1 含む)
		コネクター	USB A コネクター x 1 ※ USB ハブを経由して USB 機器を接続することはできません。
	IVDR スロット	コネクター	iVDR コネクター（SerialATA 仕様）26 ピン
		ローディング	オートローディング
ネットワーク	ファイルサーバー機能	DLNA Server 機能（DiXiM DMS3） Windows ファイルサービス (Samba)	
	対応規格	DLNA1.5、DTCP-IP1.2	
	同時録画 / 再生 / ダビング数	2 ストリームまで ※ iVDR-S 規格カートリッジ使用時は、1 ストリームまで	
	IP アドレス設定	・自動取得 (DHCP クライアント機能) ・手動設定	
	時刻合わせ	NTP 対応 (内蔵電池による時刻保持にも対応)	
その他機能	省電力機能	スタンバイモード対応（※出荷時設定） 一定時間アクセスがない場合に、HDD がスピンダウンします。（初期値：30 分）	
一般仕様	電源	DC12V 1.7A	
	外形寸法	約 260(W) × 240(D) × 45.1mm(突起部・ゴム足含む)	
	質量	約 2.2kg(本体のみ)	
	設置環境	横置き・最大 4 段まで積み置き可能 ※本製品は次のような場所に設置してください。 ・前後方向 10cm に物が無い場所に設置してください。 ・水平で安定した場所に設置してください。 ・発熱物の上に設置しないでください。	
	使用温度範囲 (℃)	5 ～ 35	
	使用湿度範囲 (%)	30 ～ 60 (結露なきこと)	
	保証期間	1 年保証	
	各種取得規格	RoHS 指令準拠、VCCI Class A	

ランプの表示

電源ランプ	青	DHCP サーバーより IP アドレスを設定時、または固定 IP 設定時
	緑	AutoIP にて IP アドレスを設定時
	赤	スタンバイモード（省電力モード）時
更新ランプ	橙	新しいファームウェアがあります。 ※詳しくは、【●最新ファームウェア自動チェック機能】(36 ページ) をご覧ください。
録画ランプ	赤	録画中 / ダビング中
	橙	予約録画が設定済み
ステータスランプ	赤	エラー発生時

状態・操作	ブザー	電源ランプ	ステータスランプ	状態
電源コンセント接続時	なし	消灯	-	本製品の電源が入っていない状態です。
電源投入後	ピッ	緑点滅	-	システム起動中です。
システム起動直後	ピー	青点灯	-	正常に起動完了しました。（DHCP サーバーまたは手動にてＩＰアドレスを設定）
システム起動直後	ピー	緑点灯	-	正常に起動完了しました。（Auto ＩＰよりＩＰアドレスを設定）
システムシャットダウン時	ドレミ※ →ピッ	緑点滅	-	システムシャットダウン処理中です。 ※「ドレミ」は、省電力設定が有効時のみ
設定操作を実行中	なし	緑点滅	-	本製品の設定画面による設定操作を実行中です。 ランプが点滅中は Web 設定画面による操作はできません。
内蔵ボリュームに対する操作（フォーマット、チェックディスク）を実行中	なし	緑点滅	-	内蔵ボリュームに対する操作（フォーマット、チェックディスク）を実行中です。 番組の録画や再生、共有フォルダーへのアクセスなどはできません。
設定完了時	ピー	緑点灯 / 青点灯	-	実行中の設定が完了しました。 ※設定によっては、ブザーが鳴らない場合があります。
フォルダー公開設定	ピー	緑点灯 / 青点灯	-	フォルダー公開の有効 / 無効の設定が完了しました。
USB 機器を接続した	なし	緑点滅	-	USB 機器の接続処理中です。
USB 機器接続処理完了時	ピー	緑点灯 / 青点灯	-	USB 機器の接続処理が成功しました。
USB 機器取り外し時	ピッ	緑点滅	-	USB 機器の取り外し処理中です。
USB 機器取り外し処理完了時	ピー	緑点灯 / 青点灯	-	USB 機器の取り外し処理が成功しました。
省電力モード設定時	なし	赤点灯	-	内蔵ハードディスクが省電力状態（スピンダウン状態）です。
電源投入後	ピピピピピ	-	赤点灯	システム起動不能状態です。 内蔵ディスクのシステムが読み取れない場合に発生します。
USB 機器接続処理完了時	ピーピーピー	-	赤点灯	USB 機器が正しく接続できていない状態です。
録画先を変更	ピッ	-	-	内蔵ハードディスクを録画先として設定しました。
	ピッピッ	-	-	カートリッジを録画先として設定しました。
カートリッジへのアクセス時、ムーブ時、ダビング時、録画時	ピーピーピー	緑点灯 / 青点灯	赤点灯 (3 秒) → 消灯	カートリッジへのアクセス中、ムーブ中、ダビング中、録画中です。

出荷時設定

項目	初期値
システムバージョン	1.60（出荷時期による）
MAC アドレス	00:A0:B0:xx:xx:xx（製品ごとに異なる）

●かんたん設定

項目	初期値		
本製品の名前	HVL-xxxxxx(製品ごとに異なる)		
IP アドレス設定	自動で設定する		
	自動取得失敗時	IP アドレス	AutoIP 自動割当 169.254.xxx.xxx
		サブネット	255.255.0.0
		ゲートウェイ	なし
		DNS サーバ	なし
時刻設定	タイムサーバーと同期		同期する

●詳細設定

項目	初期値	
セキュリティ設定	MAC アドレス別アクセス設定	なし
	上記リスト以外の機器からのアクセス設定	接続を許可
システム設定	ランプの明るさ	明るい
	自動アップデート機能	有効
	カテゴリ表示	英語
	カートリッジへの録画	無効
	録画保存場所	内蔵 HDD
フォルダー公開	フォルダー公開の設定	有効
ディスク	内蔵 HDD の省電力設定	30 分後（有効）

文字制限

項目名	文字数	備考
本製品の名前	14 文字以下	設定画面上で使用できる文字 半角英数文字 (0 ～ 9 A ～ Z a ～ z) アンダーバー _ ハイフン - (数字やハイフン - で始まる文字列は不可)
ファイルや フォルダー名	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	使用する文字種によっては左記の数値よりも少なくなる場合があります。 Windows 7、Vista では他の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。 よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。 Windows 7、Vista と他の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「Microsoft Windows Vista における JIS X 0213:2004(JIS2004) 対応について」の「フォントパッケージと JIS2004 への移行シナリオ」に沿った対応をする必要があります。 ●設定画面で使用できない文字（フォルダー名のみ） \ / : * ? " < > ¦ . .(ドット) はフォルダー名の先頭のみ使用できません。
タイトル	半角 255 文字 (全角 85 文字) まで	設定画面で使用できない文字 .(ドット) のみ .(ドット) はタイトル名の先頭のみ使用できません。

対応ファイルフォーマット

本製品は、以下のファイルフォーマットに対応しています。
ただし、再生にはプレーヤー側も該当のファイルフォーマットの再生に対応している必要があります。
DLNA 再生を行うためには、再生を行う各ファイルが DLNA 規格に合致した形式である必要があります。

動画	3gp	avi	divx	mp4	m4v	mov	mpg	m2p	mpe
	mpeg	vob	tts	asf	dvr-ms	wmv	mts	m2ts	
画像	bmp	gif	jpg	jpeg	png	tiff	tif		
音楽	ogg	lpcm	pcm	m4a	m4b	mp3	wav	wma	

「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」のご案内

本製品をお買い求めいただきましたお客様に、ハイビジョン番組をパソコンで再生して楽しめる「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」を無償でダウンロード提供しております。
デジタルハイビジョンの世界を、パソコンでもお楽しみください。

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」の主な特徴

「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」は、DLNA サーバー (RECBOX や対応したハードディスクレコーダー) に保存された地上波デジタルやスカパー! HD といったデジタルハイビジョン番組をパソコンで再生できるソフトウェアです。
お使いのパソコン※にインストールすると、本製品に保存されたコンテンツを離れた部屋でいつでも楽しむことができます。
※アナログ RGB および HDCP 未対応のデジタル（DVI 等）ディスプレイが接続されたパソコンでの視聴には未対応です。同時に 1 台のパソコンにのみ、インストールいただけます。

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」の入手方法

下記よりダウンロードいただけます。
http://www.iodata.jp/lib/

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」に関するお問い合わせ

弊社では、「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」に関するサポートは行っておりません。
「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」の使い方や不明な点は、日本インテリジェンス株式会社オプトマーケット事業部にお問合せください。
問い合わせ方法については、インターネットによるサポートのみとなります。
下記の「お問い合わせページ」よりお問い合わせください。
※ユーザーサポートをご利用いただくには、事前にユーザー登録が必要となります。
ご登録いただいていないお客様は、ユーザーサポートをご利用いただけない場合がございます。

・ヘルプを見る	http://optmarket.jp/support
・お問い合わせページ	http://optmarket.jp/support/form.html
・ユーザー登録について	http://user1.optmarket.jp/regist01/

■「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」の動作環境

対応 OS	・Windows® 7（32 ビット版 /64 ビット版）Home Premium 以上※ ・Windows Vista® SP2 以降（32 ビット版 /64 ビット版）Home Premium/Ultimate※ ※ Windows Aero 有効を推奨
CPU	Pentium4® 2.8GHz 以上 （Core2 Duo® 以上を推奨）または同等以上の互換 CPU
グラフィックス (GPU)	Intel® G965 Express チップセット以降 ATI Radeon™ HD 2600 以上 NVIDIA® GeForce® 8400 GS 以上 ※ COPP 対応の高性能グラフィックスボードおよび、COPP 対応グラフィックスドライバーが必要です。 ※ DVI-D または HDMI 接続の場合は、HDCP 対応のグラフィックスボードが必要です。 ※アナログ RGB 接続には対応していません。
メモリー	2G バイト以上推奨
サウンド機器	Microsoft MME または WDM に準拠した Windows 互換サウンド機器必須
ディスプレイ	1024 × 768 ピクセル以上、High Color 以上 ※ DVI-D または HDMI 接続の場合は、HDCP 対応ディスプレイが必要です。 ※アナログ RGB 接続には対応しておりません。
インターネット接続環境	初回起動時のみ必須
その他注意	・本製品を複数台同時に使用することはできません。 ・1 台のパソコンで複数のディスプレイをお使いの場合は、プライマリーのディスプレイ以外は再生できません。また、2 つの画面に同じ内容を表示する「ミラーモード」ではプライマリーディスプレイであっても再生できません。 ・スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどのパソコンの省電力機能には対応しておりません。

■「DiXiM Digital TV plus」の優待販売版のお知らせ

Windows XPをご利用になる場合は、「DiXiM Digital TV plus」の優待販売版をioPLAZA（I-O DATA 直販サイト）でご購入いただけます。

ioPLAZA（I-O DATA 直販サイト）　http://www.ioplaza.jp/

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください

本書の「困ったときには」を参照

弊社サポートページの Q&A を参照

➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバソフト等をダウンロード

➡ http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話：050-3116-3015

※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

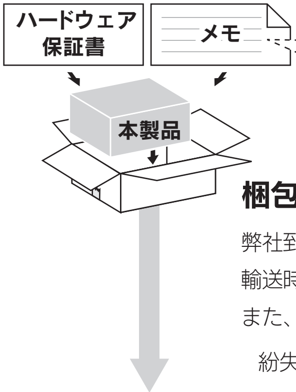
FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>　製品名 / パソコンの型番・OS または接続している AV 家電機器の型番

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



●氏名	●住所	●電話番号
●FAX 番号	●メールアドレス	●症状

※メモの代わりに Web 掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に！

弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の包装材・箱にて梱包してください。
また、出荷時の状態のように本製品に仕切りを装着しお送りください。

紛失をさけるため、**宅配便・書留ゆうパック** でお送りください。

〒 920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- ●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- ●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- ●内部データは厳密な検査のため、消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- ●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- ●保証内容については、保証規定に記載されています。
- ●修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

修理について詳しくは…　http://www.iodata.jp/support/after/

【ご注意】

1） 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windows および Windows Vista ロゴは、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる

株式会社 アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目84番地
ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.iodata.jp/support/